

仮放免者住居調査報告

—追いつめられる ホームレス化する仮放免者—

2023年12月

北関東医療相談会／ビッグイシュー基金／つくろい東京ファンド

調査の概要

■調査背景・目的

- ・支援現場において、多くの仮放免状態にある者から「家賃が払えない」「住居を失った」「路上生活をしている」といった相談が相次いでいる。その一方で、こうした現状は可視化されていない。
- ・そこで、困窮者支援を行う3団体共同で「仮放免者と住居」の実態を解明するための調査を行った。
- ・「仮放免者と住居」に関する先行調査については2021年に北関東医療相談会が行った「仮放免者生活実態調査」でその一部が示されているが、そこでは住居問題に関して詳細な結果は示されていない。本調査は日本で初めて「仮放免者と住居」に関する詳細な結果を示した。

■調査結果

①86%が「働ける年齢層」、85%が「難民認定申請者」、31%が「未成年の子ども」あり世帯

- ・調査回答者の86%が20～50代の働ける年齢層。
- ・調査回答者のうち、帰化要件（5年）以上の滞在年数の者は85%、永住許可要件（10年）以上の者は66%、20年以上の者は39%、30年以上の者は23%となっており、他の調査と比較して滞在年数が長い者が多い。
- ・調査回答者の85%が難民認定申請中。
- ・調査回答者の31%が未成年の有子世帯。

②91%が「家賃に苦しむ」、46%が「家賃滞納」、40%が「電気ガス水道滞納」

- ・家賃の負担感をとても苦しい・苦しいと答えた者は91%。国交省調査の1.7倍。
電気ガス水道の負担感をとても苦しい・苦しいと答えた者は86%。
- ・家賃滞納をしている者は46%。公益財団法人調査の57.5倍。
電気ガス水道を滞納している者は40%。研究所調査の23.5～26.7倍。
- ・過去に家賃滞納経験のある者は66%。
過去に電気ガス水道の滞納経験のある者は63%。

③家賃払えず、家賃や住居の援助を受ける不安定居住の仮放免者

- ・住居を確保することがとても大変・大変と答えた者は70%。
- ・調査回答者の多くが、家賃を支払う際に親戚親族・友人からもらう、借金をする、支援者・支援団体からもらう。
- ・調査回答者の53%が本人や家族以外の者が所有する住居で暮らす。

④5人に1人が「路上生活の経験」、5人に1人が経済的な理由で「住居を失った経験」

- ・住居を維持できないかもしれない・すでに家を失っている・わからないと答えた者は74%。
現在の住居に安心して暮らし続けられないと答えた者は51%。

- ・過去に家賃を支払えずに住居を失った経験がある者は 21%。
過去に路上生活をした経験がある者は 22%。

■要望・提言

- ①在留資格の有無や条件に拘わらず、外国人が確実に居住支援法人に繋がれるよう周知徹底すること
- ②公営住宅の入居者募集に際し、在留資格の有無や在留期間等の条件によって応募の受付と抽選から除外されないよう、措置を講じること
- ③先例にもあるように、建て替え計画等により空室がある公営住宅の空室が活用されるよう、支援団体の利用を認める措置を講じること
- ④非正規滞在外国人を含む外国人に対しウクライナ避難民並みの居住支援をすること

※北関東医療相談会「仮放免者生活実態調査」での提言（就労を認めること、国民健康保険など医療保険の加入を認めること、無料低額診療事業を行う医療機関への支援・未払補填事業の整備拡充を行うこと、生活保護法を適用すること）を踏まえたうえで、住居に焦点を当てた提言

目次

調査の概要

1.はじめに ーなぜ仮放免者住居調査が必要なのかー

2.調査方法

3.調査結果

(1) 調査回答者本人のこと

- ①年齢・性別・国籍・難民認定申請の有無
- ②滞在年数
- ③世帯人数・世帯構成

(2) 家賃・電気ガス水道の状況

- ①家賃の負担感
- ②家賃額
- ③家賃滞納
- ④電気ガス水道の負担感
- ⑤電気ガス水道の滞納
- ⑥家賃の支払い方法

(3) 住居の確保維持・路上生活

- ①住居の所有者
- ②住居の確保
- ③住居の維持
- ④引越の希望
- ⑤住居を失った経験・路上生活の経験

4.仮放免者住居調査で明らかになったこと・仮放免者施策の提言

(1) 仮放免住居調査で明らかになったこと

- ①86%が「働ける年齢層」
85%が「難民認定申請者」、31%が「未成年の子ども」あり世帯
- ②91%が「家賃に苦しむ」、46%が「家賃滞納」、40%が「電気ガス水道滞納」
- ③家賃払えず、家賃や住居の援助を受ける不安定居住の仮放免者
- ④5人に1人が「路上生活の経験」
5人に1人が経済的な理由で「住居を失った経験」

(2) 仮放免者施策の提言

- ①要望書（国土交通省）
- ②要望書（東京都）

5.参考資料

(1) 自由記述

- ①家賃・電気・ガス・水を払えないとき、どうしていますか？
- ②引越をしたい・したくない理由
- ③住居のことで困っていること、希望、言いたいことがあれば教えてください

(2) 調査票

- ①日本語
- ②英語
- ③フランス語
- ④トルコ語

謝辞

1.はじめに —なぜ仮放免者住居調査が必要なのか—

「なんであの時死ねなかったんだ」

アフリカ出身の A さん。彼はテロ組織に狙われ命からがら日本に逃れてきた。難民認定申請をするも認められない日々が続いた。最初は友人に借金をして生活していたが、仮放免の生活が長くなるにつれてその援助を受けられなくなった。その後、次第に困窮化。家賃滞納を理由にアパートから出ていかななくてはならない状況に。電気ガス水道も止まり、食べ物はほぼ底を尽きていた。A さんは「頭が真っ黒」になり、両手首と首の後ろを切った。気を失い倒れ、血がドアの下から流れていたところを発見され、緊急搬送。しかし、医療費が払えず自主退院。帰る場所もなく傷が全く癒えないまま路上生活をしていた。ロープを探し出して首をくくろうともした。しかし、彼は自ら支援団体を探し支援団体につながった。彼は支援者に「なんであの時死ねなかったんだ」と話していた。

彼はプロの料理人だった。出会ってからしばらくたった後、「みんなの役に立ちたい」と手料理を支援者に振る舞ってくれた。彼の作る料理はチャリティイベントでも評判だった。イベントの後、彼はポロっと「まだ生きていてもいいこともあるかもね」と話していた。

「仮放免者」とは、「収容令書又は退去強制令書により収容されている者について、病気その他やむを得ない事情がある場合、一時的に収容を停止し、例外的に身柄の拘束を解くための措置¹」を受けている人たちのことを示す。仮放免者は日本政府から帰国するべきとされているが、何かしらの事情で帰国しない・できない人たちだ。

仮放免者は就労することが認められておらず、生きていくための収入を得ることができない。国民健康保険に加入できず全額自己負担以上で医療機関に受診しなければならない。「最後のセーフティネット」である生活保護の利用もできず、生活に困窮していても何の救いの手立てもない。仮放免者からは「食料がない」「病院に行けない」「家賃が払えない」といった SOS が相次いでおり、文字通り「生きていけない状況」に追い込まれている。

こうした現実には北関東医療相談会が 2021 年に行った「仮放免者生活実態調査」でも明らかになっている。しかしながら、その後「生きていけない」現状は改善することはなく、むしろ悪化の一途をたどっている。そうした中で、現在、支援団体のもとには「家を失いそうです」「ホームレス生活をしています、助けてください」といった待ったなしの急を要する

¹ 2019 年 11 月 25 日 法務省出入国在留管理庁「収容・送還に関する専門部会 第 3 回会合 収容・仮放免に関する現状」https://www.moj.go.jp/isa/policies/policies/nyuukokukanri03_00001.html。

相談が日々相次いで押し寄せている。すべて支援団体の持ち出しで行っているシェルターは満室であり、行き先がないので空き室が出ることもない。路上生活にならないように滞納家賃・光熱水費支援をするが1月5万円程度の援助を何人も何年も続けていく余裕は支援団体にはない。結果として仮放免者からの悲痛な懇願を断ることになる。冒頭のAさんのように自殺を図った人もいる。家賃の見返りに性的関係を強要されても耐え忍んでいる人がいる。どうにかしたい。救えない人が多すぎる。

こうした深刻な状況は今すぐに改善されなければならない。しかし、この状況を知っているのは仮放免当事者と支援者に限られている。多くの方は仮放免者の置かれている状況はもちろんのこと、「仮放免」という言葉さえも知らない状況だ。

そこで私たち困窮者支援団体はデータでもってこの現実を多くの人に知ってもらうために「仮放免者住居調査」を行った。「仮放免者と住居」に関する先行調査については2021年に北関東医療相談会が行った「仮放免者生活実態調査」でその一部が示されているが、ここでは住居問題に関して詳細な結果は示されていない。本調査は日本で初めて「仮放免者と住居」に関する詳細な結果を示した。さらに、この調査結果を踏まえて、国土交通省と東京都に現状改善のための申し入れも行った。それら要望書は本報告書にも掲載している。

追い詰められた仮放免者のホームレス化が相次ぎ、支援の現場は逼迫している。住まいは人権である。本調査を契機として、国籍や在留資格の有無を問わずすべての人に安心安全な住まいが保障される社会になることを願ってやまない。

2.調査方法

仮放免者住居調査の調査地域は日本全国を対象とした。調査時期は2023年8月～12月。この時期に仮放免状態である者を対象に行った。調査方法は調査票(5.「参考資料」を参照)を調査対象者に郵送。調査回答者は無記名で回答、返信用封筒にて返信する方法で行った。調査票は日本語、英語、フランス語、トルコ語の4言語対応とした。

調査対象者の選定については、北関東医療相談会ほか外国人支援団体が支援を行っている仮放免者、仮放免当事者から紹介のあった仮放免者に調査票を郵送した。550件に郵送、回収率は26.5%(146件)であった。なお、全体の8.4%(46件)は送達先不明で調査票が調査者(北関東医療相談会・ビッグイシュー基金・つくろい東京ファンド)に返送された。

2022年12月末現在の仮放免者は4671人(収容令書・退去強制令書によるもの)であり²、調査に回答した仮放免者は仮放免者全体の3.1%であった。

表1 調査方法の概要

調査地域	全国
調査期間	2023年8月～12月
調査対象者	調査期間中に仮放免状態である者
調査方法	郵送配布-郵送回収(日本語・英語・フランス語・トルコ語)、匿名調査
調査対象者の選定方法	外国人支援団体や支援者・仮放免当事者から紹介
配布数・回収率	550件・26.5%(146件) ※送達先不明で返送されたのは8.4%(46件)

² 法務省「出入国管理統計」https://www.moj.go.jp/isa/policies/statistics/toukei_ichiran_nyukan.html。

3.調査結果

(1) 調査回答者本人のこと

ここでは、調査回答者の年齢・性別・国籍・難民認定申請の有無、滞在年数、世帯人数・世帯構成を示す。ここでのポイントは、仮放免者住居調査の回答者は20代から50代の者が多いこと、滞在年数の長い者が多いこと、難民認定申請をしている者が多いこと、未成年の子どもがいる世帯が3分の1程度であることである。

①年齢・性別・国籍・難民認定申請の有無

調査回答者の年齢は、10代以下3%、20代8%、30代16%、40代28%、50代34%、60代10%、70代以上1%。20代から50代で全体の86%を占めている。なお、法務省出入国在留管理庁発表資料³では、仮放免者は2019年6月末現在、10代以下13%、20代9%、30代27%、40代28%、50代19%、60代以上4%となっており、20代から50代で全体の83%を占めており、仮放免住居調査の結果とほぼ同様な結果となっている。

調査回答者の性別は、男性74%、女性25%、その他1%。なお、上記入管発表資料では男性74%、女性26%であり、仮放免住居調査の結果とほぼ同様な結果となっている。

調査回答者の国籍は合計33の国と民族。上位10か国は、スリランカ11.2%、ナイジェリアとイラン10.5%、コンゴ民主共和国7.7%、クルド7%、カメルーン6.3%、パキスタン5.6%、フィリピンとガーナ4.9%、バングラデシュ4.2%であった。なお、上記入管発表資料ではトルコ17%、フィリピン12%、イラン9%、スリランカ9%、ミャンマー6%、パキスタン5%、ナイジェリア5%、中国5%、ペルー3%、ブラジル3%となっている。

また、調査回答者のうち85%が難民認定申請を行っていた。

³ 法務省出入国在留管理庁 2019年11月25日「第3回 収容・送還に関する専門部会『被退令仮放免者に関する統計』」https://www.moj.go.jp/isa/policies/policies/nyuukokukanri03_00001.html。

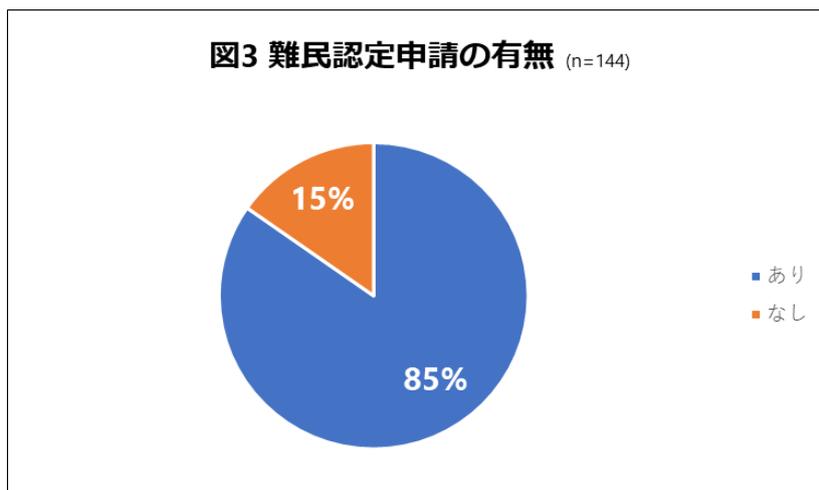
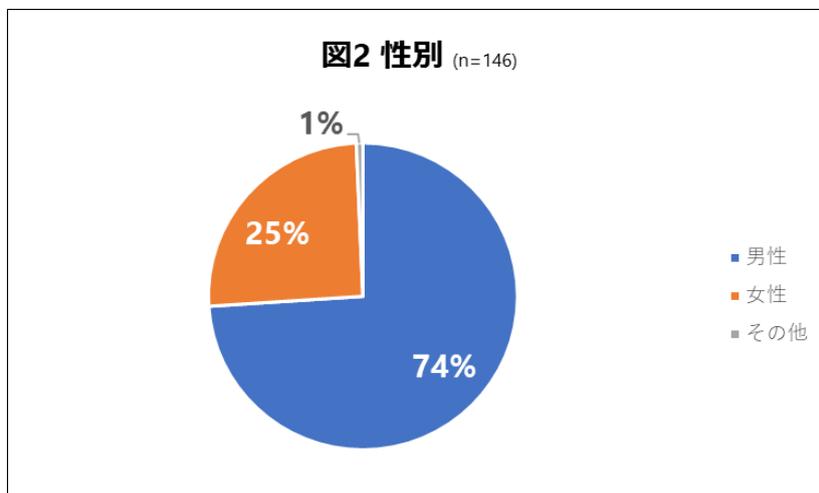
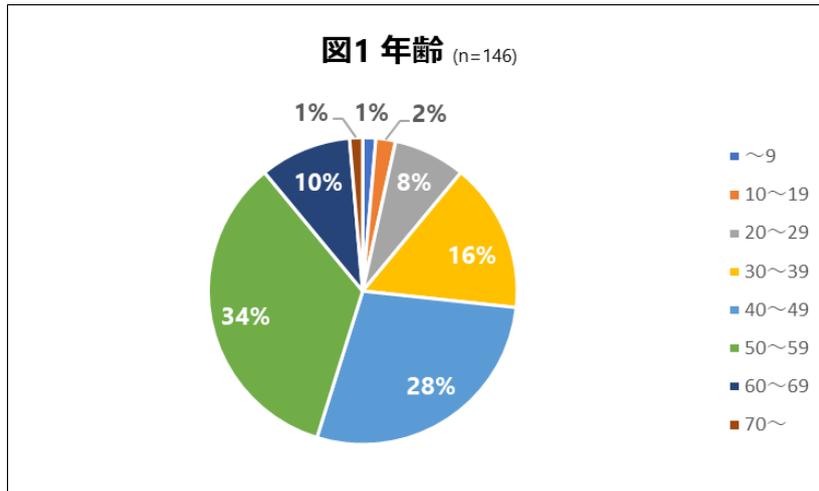


表2 国籍 (n=143) (人)

スリランカ	16
ナイジェリア	15
イラン	15
コンゴ民主共和国	11
クルド	10
カメルーン	9
パキスタン	8
フィリピン	7
ガーナ	7
バングラデシュ	6
トルコ	5
中国	3
ペルー	3
ネパール	2
ミャンマー	2
インド	2
チュニジア	2
セネガル	2
ギニア	2
ブルンジ	2
ベトナム	1
タイ	1
アフガニスタン	1
イラク	1
マリ	1
ブルキナファソ	1
リベリア	1
ガボン	1
ウガンダ	1
ケニア	1
ブラジル	1
パラグアイ	1
米国	1
無国籍	1

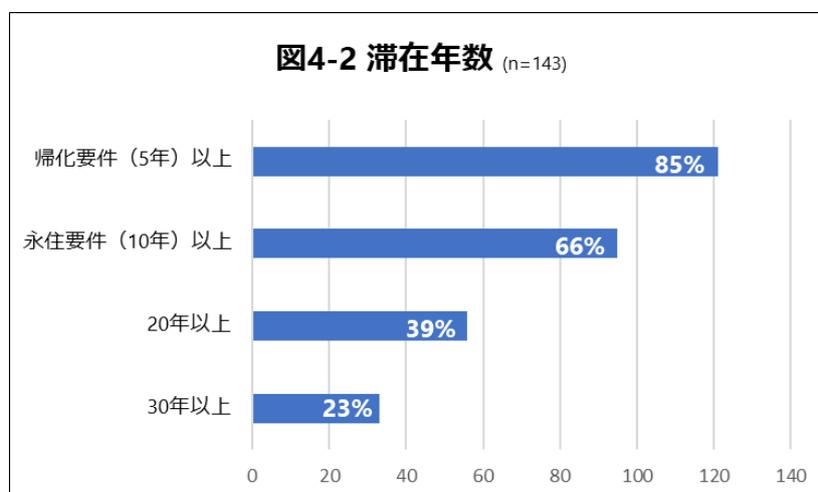
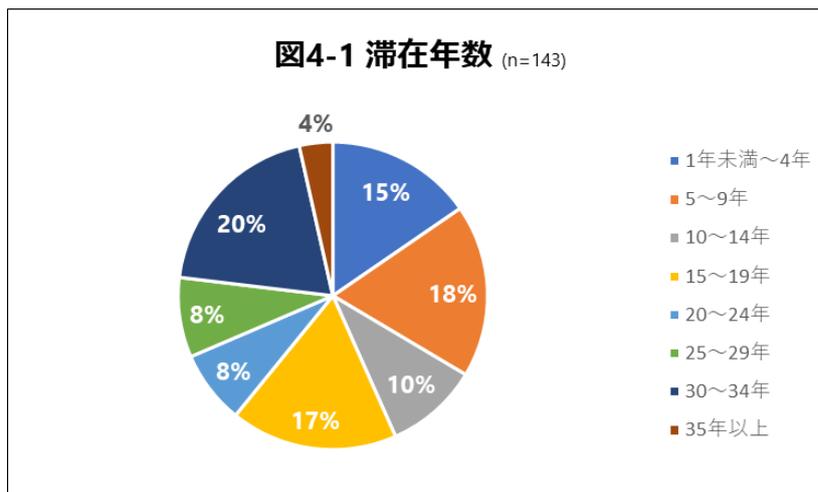
②滞在年数

調査回答者の日本滞在年数は、1年未満～4年 15%、5～9年 18%、10～14年 10%、15～19年 17%、20～24年 8%、25～29年 8%、30～34年 20%、35年以上 4%であった。

国籍法では帰化要件のひとつに「引き続き5年以上日本に住所を有すること」が示され

ている⁴。また、永住許可に関するガイドラインには永住許可要件のひとつに「原則として引き続き10年以上本邦に在留していること」が示されている⁵。調査回答者のうち、帰化要件（5年）以上の滞在年数の者は85%、永住許可要件（10年）以上の者は66%、20年以上の者は39%、30年以上の者は23%であった。

なお、表3に示したように、仮放免調査の回答者は他の調査と比較して、滞在年数が長い者が多い。



⁴ 国籍法第5条第1項第1号。

⁵ 出入国在留管理庁「永住許可に関するガイドライン（令和5年12月1日改訂）https://www.moj.go.jp/isa/publications/materials/nyukan_nyukan50.html。

表3 滞在年数に関する調査

調査者	調査年	回答件数	滞在年数 (%)				
			帰化要件 (5年) 以上	永住要件 (10年) 以上	20年以上	30年以上	生まれてからずっと
北関東医療相談会・ビッグイシュー基金・つくろい東京ファンド	2023年	143	85	66	39	23	-
北関東医療相談会	2021年	139	84	66	36	16	-
出入国在留管理庁	2020年	1502	66.2※	33.8	13.5	3.0	6.0
外国人集住都市会議 群馬・静岡ブロック	2020年	1220	56.7	47.0	25.0	4.4	-
福岡県	2020年	1484	47.8	26.9	-	-	-
木更津市	2020年	401	70.5	60.5	35.1	15.4	-
川崎市	2019年	1085	63.8※※	39.4	16.3	-	9.5

北関東医療相談会「仮放免者生活実態調査」、出入国在留管理庁「令和2年度 在留外国人に対する基礎調査報告書」、外国人集住都市会議 群馬・静岡ブロック「外国人集住都市会議 群馬・静岡ブロック調査（新型コロナウイルスと災害等の情報伝達に関する調査）報告書」、福岡県「福岡県在住外国人 アンケート調査報告書」、木更津市「木更津市外国人市民対象アンケート調査報告書」、川崎市「外国人市民意識実態調査報告書」より作成。
 ※3年以上の滞在期間の統計。
 ※※4年以上の滞在期間の統計。

③世帯人数・構成

調査回答者の世帯人数は、1人48%、2人18%、3人13%、4人12%、5人以上9%。また、調査回答者の世帯構成は、単身53%、二人親以上世帯24%、母子・父子世帯13%、友人・知人と同居10%。同居する17歳以下の子どもがいる世帯は全体の31%であった。

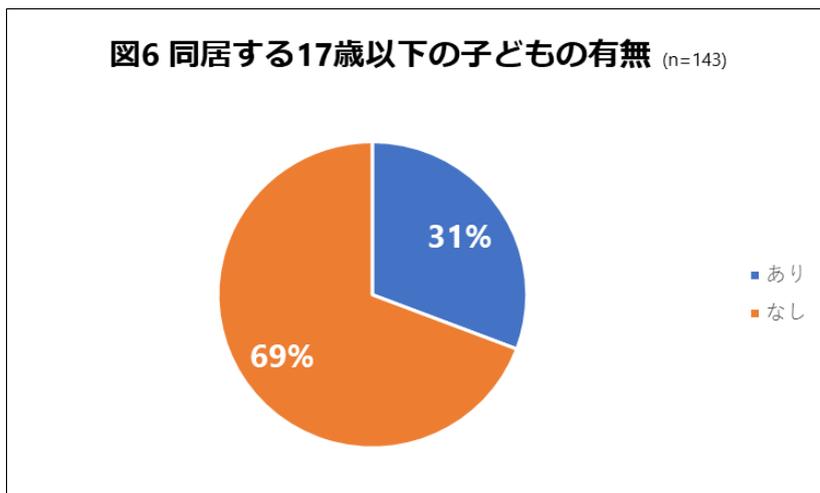
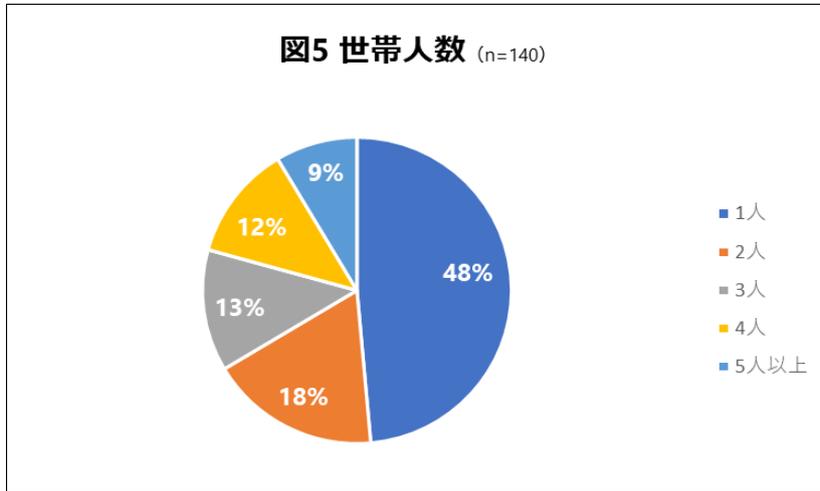


表4 世帯構成 (n=128)

単身	68
二人親以上世帯	31
夫婦	13
夫婦・子1人	6
夫婦・子2人	7
夫婦・子3人	1
夫婦・子4人	1
夫婦・義父	1
夫婦・義母・子1人	1
夫婦・親戚	1
母子・父子世帯	16
母・子1人	5
母・子2人	6
母・子3人	2
母・子2人・祖父	1
母・子2人・義母	1
父・子2人	1
友人・知人と同居	13

- ・仮放免中なので仕事できません。仕事ができないのでお金もありません。今はお義母さんの給料だけで生活をしていて本当に困っています。子どもたちのためにも早く仕事ができるようになりたいです (40代女性)
- ・私は何を書けばいいかわかりません。今の家に住み続けるように助けが必要です。住まいがなくなったら、どこへ行けばいいかわからないし、どうやって娘の近くにイれるかわかりません (40代女性)
- ・子どもの学校に近くて家賃は安い家があればよいといいけど、在留資格ないから借りることができません (30代女性)
- ・家を変えたいですが、息子の学校と生きるのが難しく、できません。働くこともできなく…生活費を払うのが困難です (50代女性)

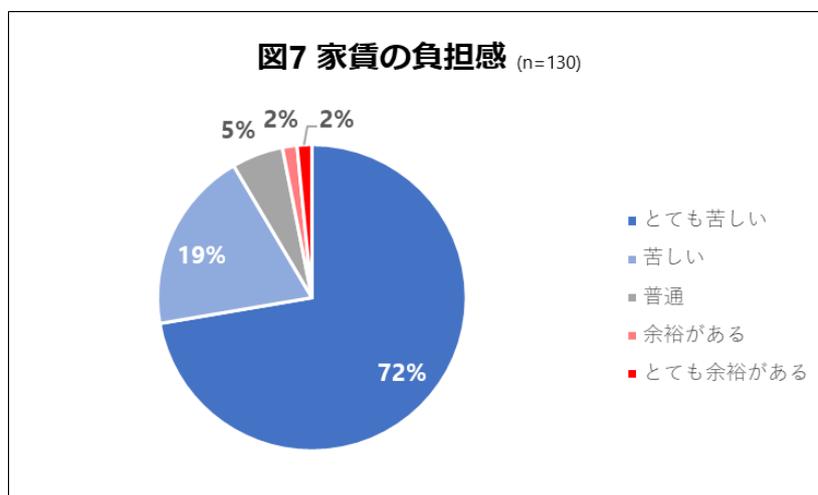
(2) 家賃・電気ガス水道の状況

ここでは、調査回答者の家賃・電気ガス水道の負担感、家賃額、家賃・電気ガス水道の滞納状況、家賃・電気ガス水道の滞納経験、家賃の支払い方法について示す。ここでのポイントは、仮放免者住居調査の回答者は、家賃や電気ガス水道の負担感を感じている者が多いこと。家賃や電気ガス水道の滞納をしている者が4割程度いること。家賃や電気ガス水道の滞納経験のある者が6割程度いること。調査回答者の家賃の支払い方法について親戚親族・友人からもらう、借金をする、支援者・支援団体からもらうと回答した者が多いことである。

①家賃の負担感

調査回答者の家賃の負担感は、とても苦しい72%、苦しい19%、普通5%、余裕がある2%、とても余裕がある2%であり、とても苦しい・苦しいが全体の91%を占めた。

なお、国土交通省「住宅市場動向調査報告書⁶」によると、2021年4月～2022年3月に住み替えなどを行った民間賃貸住宅に暮らす世帯の家賃の負担感について、非常に負担感がある9.4%、少し負担感がある44.4%、あまり負担感はない29.3%、まったく負担感はない10.8%との結果であった。仮放免者調査では、家賃の負担感をとても苦しい（非常に負担感がある）・苦しい（少し負担感がある）と答えた者は国交省調査の1.7倍だった。



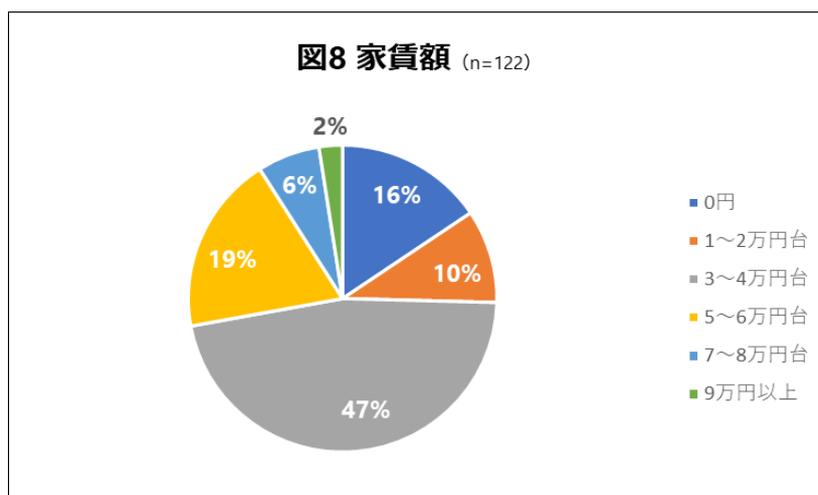
- ・本当に難しいです。非常にストレスがたまります (50代女性)
- ・次をどうすればいいかわからなくなり、ストレスがものすごいです (60代男性)
- ・家賃を払うのに支援が必要です。払えないのが恥ずかしく、精神的にも限界です。支援をしていただければ本当に感謝します。今の状態だと本当に払うのが難しいです (30代男性)

⁶ 国土交通省「住宅市場動向調査報告書」<https://www.e-stat.go.jp/stat-search/files?page=1&layout=datalist&toukei=00600630&tstat=000001017729&cycle=8&tclass1val=0>。

②家賃額

調査回答者の家賃額は、0円16%、1～2万円台10%、3～4万円台47%、5～6万円台19%、7～8万円台6%、9万円以上2%であり、4万円以下が全体の73%を占めた。また、家賃の平均額は3万9754円だった。

なお、上記国交省調査では家賃の平均額は7万8069円であり、仮放免者住居調査の回答者は国交省調査と比較して、低い家賃の住居で暮らしている。



③家賃滞納

調査回答者の家賃滞納の有無は、あり46%、なし54%であった。なお、公益財団法人日本賃貸住宅管理協会「日管協短観（2022年4月～2023年3月）⁷」によると月末での1ヶ月滞納率は0.8%であり、仮放免住居調査では家賃滞納をしている者は日本賃貸住宅管理協会調査の57.5倍だった。

調査回答者の家賃滞納期間は、1か月31%、2か月41%、3か月17%、4か月4%、5か月以上7%。最長は36か月であり、平均滞納期間は3.1か月だった。

調査回答者の家賃滞納額は、1～5万円台20%、6～10万円台62%、11万～15万円台7%、16万～20万円台4%、21万円以上7%。最高額は134万円であり、平均滞納額は12万4666円だった。

また、調査回答者のうち66%が過去に家賃滞納の経験があると回答した。

⁷ 日本賃貸住宅管理協会「日管協短観」<https://www.jpmm.jp/marketdata/>。

図9 家賃滞納の有無 (n=130)

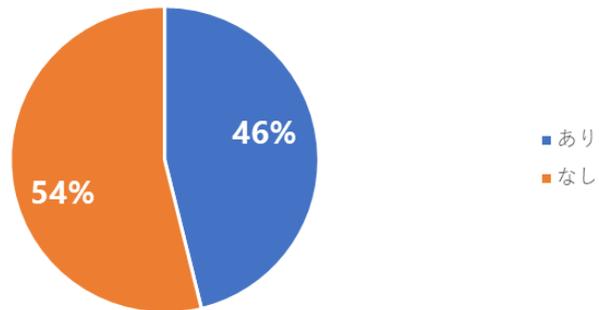


図10 家賃滞納期間 (n=46)

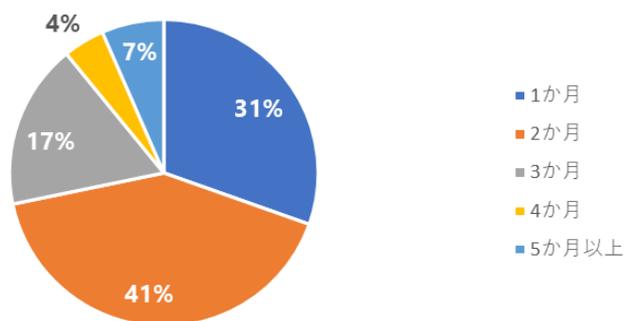


図11 家賃滞納金額 (n=45)

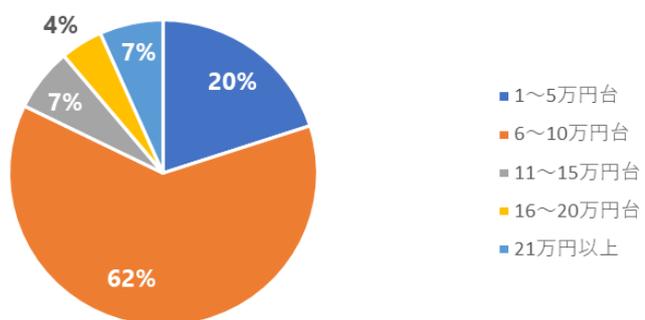
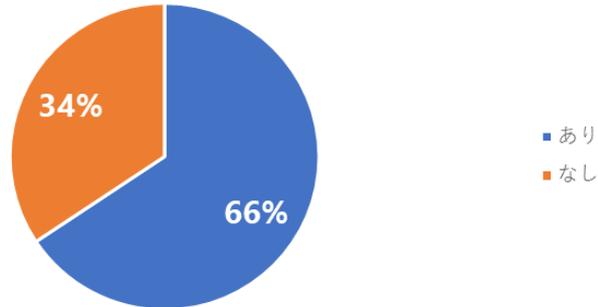


図12 家賃滞納の経験 (n=131)

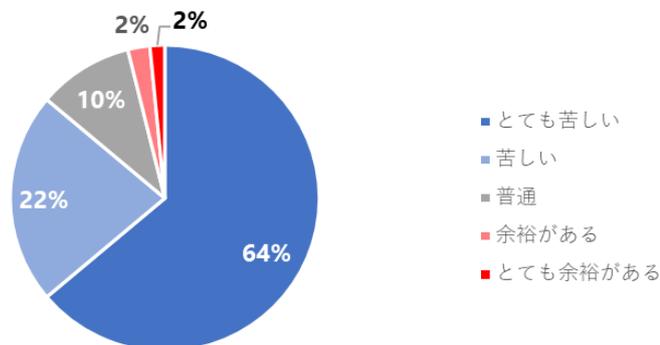


- ・いつも遅くなるで払います (50代女性)
- ・お金がなければ電気、ガス、水道も止まってしまう。家賃のお支払いを待つように大家さんと交渉する相談します (60代男性)
- ・酷い苦境に立たされています。家主は玄関までやってきて、家賃を払えなかったら、出て行けと言ってきます。兄弟が払ってくれますが、私にとっては借金になります。やっとのことで支払っています。遅れると電気が切られたりして、大変なことになりました (30代女性)

④電気ガス水道の負担感

調査回答者の電気ガス水道の負担感は、とても苦しい64%、苦しい22%、普通10%、余裕がある2%、とても余裕がある2%であり、とても苦しい・苦しいが全体の86%を占めた。

図13 電気・ガス・水道の負担感 (n=130)

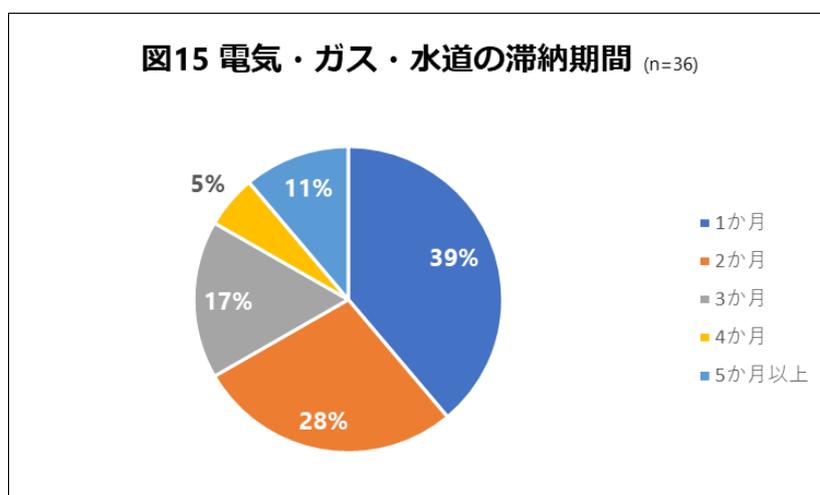
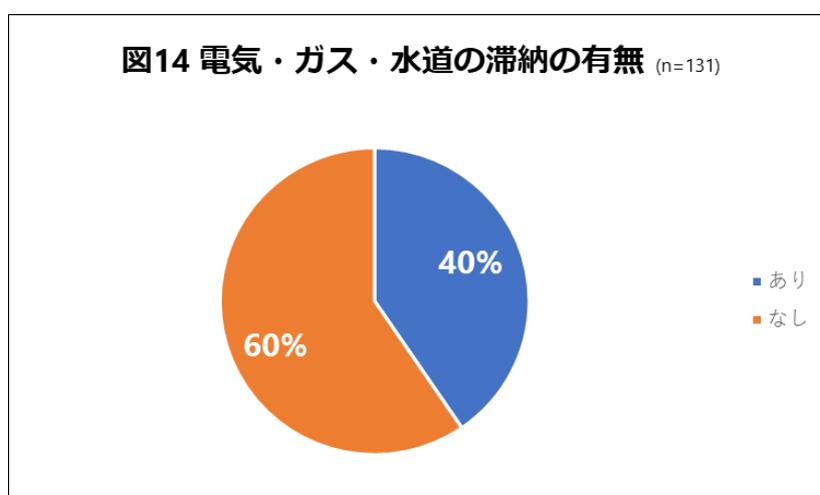


⑤電気ガス水道の滞納

調査回答者の電気ガス水道の滞納の有無は、あり40%、なし60%であった。なお、国立社会保障・人口問題研究所「社会保障・人口問題基本調査 生活と支え合いに関する調査⁸」によると、2022年7月現在、過去1年間に滞納があった世帯の割合は、電気1.7%、ガス1.5%、水道1.6%。仮放免者住居調査では、電気ガス水道の滞納をしている者は国立社会保障・人口問題研究所調査の23.5~26.7倍だった。

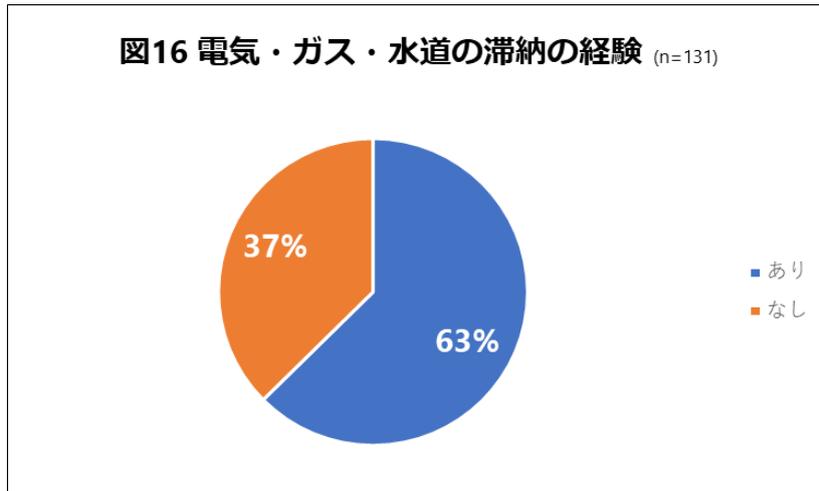
調査回答者のガス光熱水費滞納期間は、1か月39%、2か月28%、3か月17%、4か月5%、5か月以上11%。最長は12か月であり、平均は2.5か月だった。

また、調査回答者のうち63%が過去に電気ガス水道の滞納経験があると回答した。



⁸ 国立社会保障・人口問題研究所「社会保障・人口問題基本調査 生活と支え合いに関する調査」<https://www.ipss.go.jp/ss-seikatsu/j/2022/SSPL2022.html>。

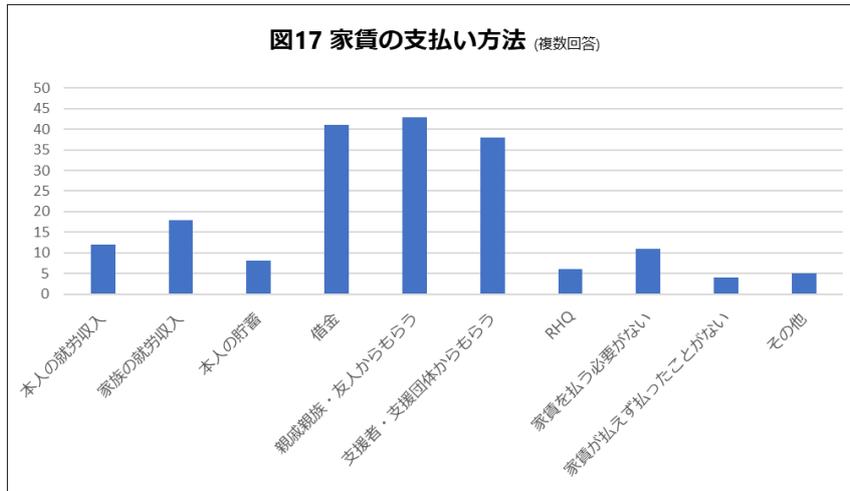
図16 電気・ガス・水道の滞納の経験 (n=131)



- ・電気ガス水とめたことが何回もあります。すごく苦しかったです (30代女性)
- ・とても大変です。4月からご飯を作らないです。冷たい水でシャワーを浴びています。もうすぐ電気が切れちゃう。電気1月からお金を払っていないから。今困っています (40代男性)
- ・暗い部屋で生活しています。冷たい水を飲んで冷たいご飯を食べます (50代男性)
- ・もうすぐ全部止められます (30代男性)
- ・電気・ガス・水は、何回も支払うのが遅くなり、3か月以上遅く、やっと友人からお金を借りて払いました (50代女性)
- ・前まで〇〇 (注：本国) からお母さんお金をもらったんです。母は亡くなったから困ることになりました。家賃は7月から払っていないです。ガスは4月から払っていないです。電気は1月から払っていないです。水は7月から払っていないです。もうすぐ寒いだからどうするかな…。ちょっとわからないんです。本当困りました (40代男性)

⑥家賃の支払い方法

調査回答者の家賃の支払い方法は、親戚親族・友達からもらう、借金をする、支援者・支援団体からもらうと回答した者が多い。



- ・教会、友人、弟にお願いするしかない (50代男性)
- ・善意のある人々たちに助けを求めています (60代男性)
- ・教会、NPO、友達たちに泣きに行きます (40代男性)
- ・私は働けなく、難しいです。友人の助けに頼っています。ですが、最近の日本は難しく、友人に頼ったままではだめです (50代女性)
- ・神に祈りながら、友人と教会に話して解決しています (50代男性)
- ・奥さんに頼んで家賃を払ってもらっているから私も役に立ちたいけど仕事がない。奥さんは家族に責められていて自分が何もできなくて情けない。〇〇(注：本国)の経済措置のせいで私の家族にお金を頼めない。奥さんは病気になったからいつまで家にいられるかわからない。奥さんのために働いて家族のためになりたい (50代男性)
- ・他の人の支援なしで、一人で生きるのは難しいです。助けてくれる友人もいますが、彼らは自分たちの家族もいるので、少ない機会です。彼らも給料が足りないときもあります。私の生活費や、家賃を支援していただければ本当に感謝します (50代女性)

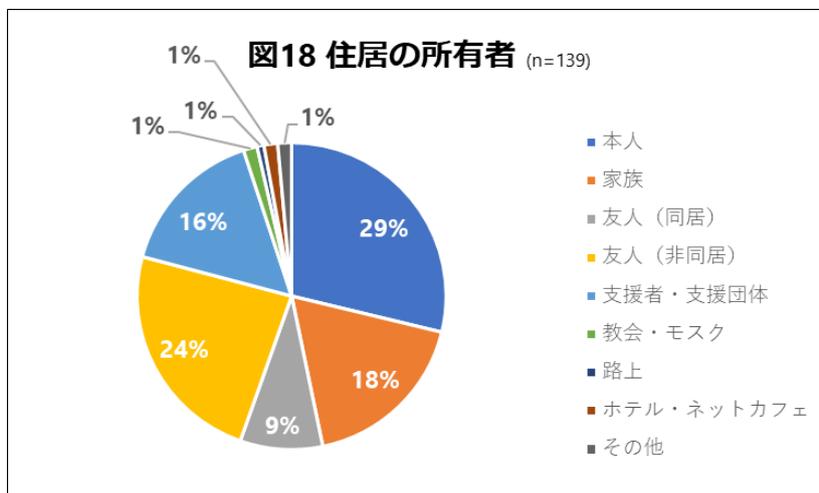
(3) 住居の確保維持・路上生活

ここでは、調査回答者が暮らす住居の所有者、住居の確保、住居の維持、引越の希望、住居を失った経験、路上生活の経験を示す。ここでのポイントは、本人や家族以外の者が所有する住居で暮らす者が半数を占めること、住居の確保や維持に困難さを感じている者が多いこと、住居を失った経験・路上生活をした経験のある者が2割程度いることである。

①住居の所有者

調査回答者が暮らす住居の所有者は、本人 29%、家族 18%、友人(同居) 9%、友人(非

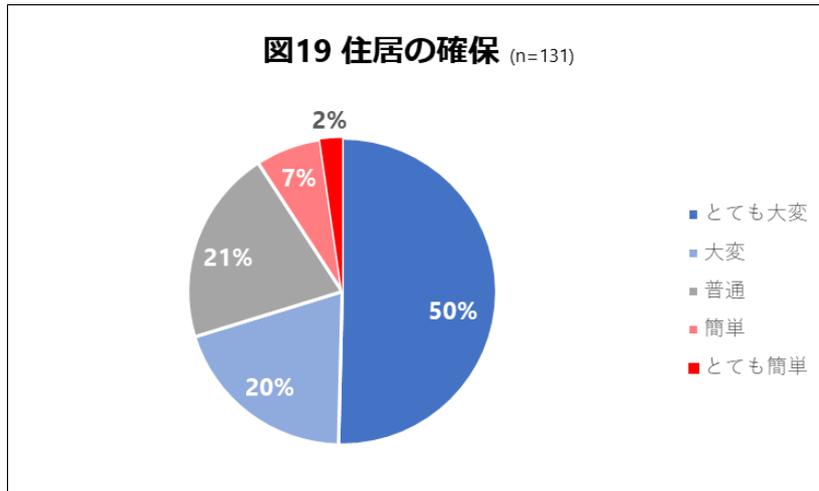
同居) 24%、支援者・支援団体が提供する住居 16%、教会・モスク 1%、ホテル・ネットカフェ 1%、路上 1%、その他 1%であり、本人や家族以外の者が所有する住居で暮らす者は全体の 53%を占めている。



- ・まったく払うことができないので、友人と住んでいます (20代男性)
- ・友達の家に住んでいます。居候をやめて私と二人の息子が家に住めるようにどうかお金をください (30代女性)
- ・家が必要です。現在、私と二人の子供と友達の家に住んでいますが大変です。住居と子供の教育のことを助けてください (30代女性)
- ・私は友人と一緒に住んでいて、彼女だけが家賃と生活費を負担している状態でもものすごく難しいです (60代男性)
- ・家賃や生活費を払えないときは、友人に支援してもらい、払っています。そして、教会で寝ています。友人の支援なしで生きていけないのが本当に恥ずかしいです (30代男性)

②住居の確保

調査回答者の住居を確保することの困難さは、とても大変 50%、大変 20%、普通 21%、簡単 7%、とても簡単 2%であり、とても大変・大変が全体の 70%を占めている。

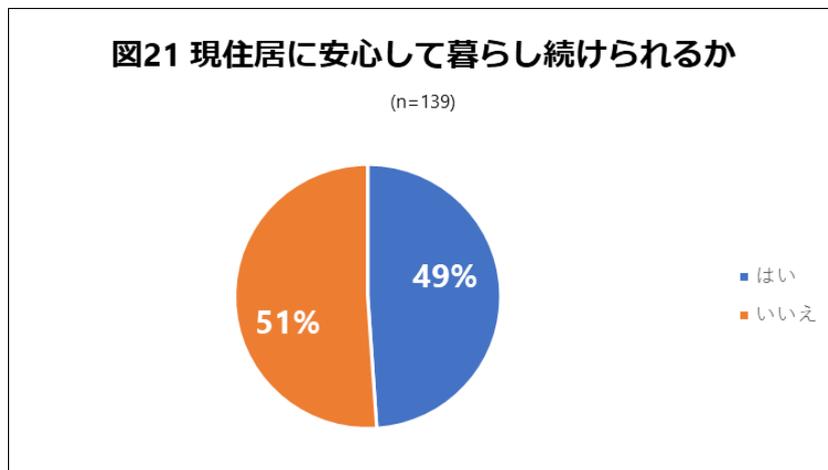
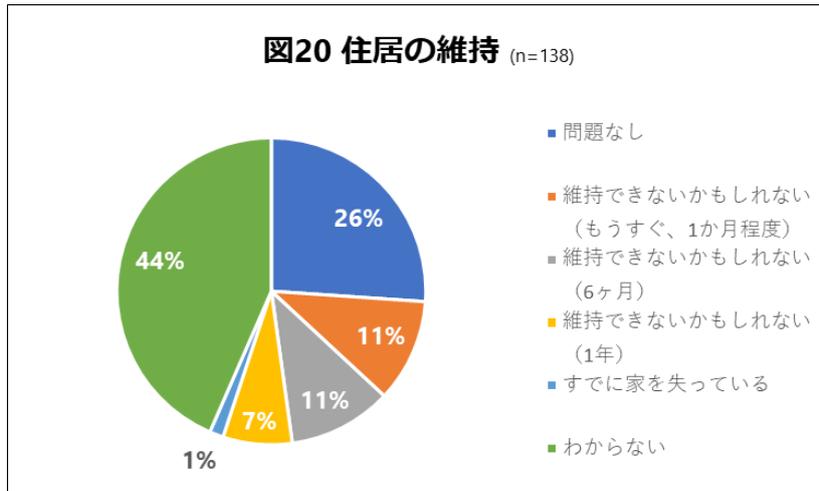


- ・私は住民票がないため家を借りることもできない (50代男性)
- ・シェルターだから出ないといけない。でも、仮放免だから働けない。家借りるできない。どうしますか (30代男性)
- ・自分の名義で家が借りられたらと思う。仮放免の生活で一番困っているのは働けないこと、保険がないこと、移動ができないことです。こうした人として当たり前のことが認められていないことが一番困ります (50代男性)

③住居の維持

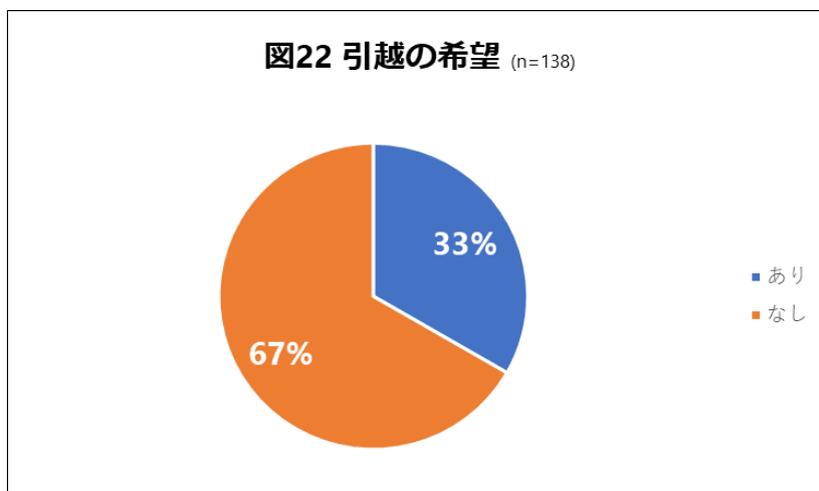
調査回答者の住居の維持については、問題なし 26%、維持できないかもしれない (もうすぐ、1か月程度) 11%、維持できないかもしれない (6ヶ月) 11%、維持できないかもしれない (1年) 7%、すでに家を失っている 1%、わからない 44%であり、維持できないかもしれない・すでに家を失っている・わからないと答えた者が全体の 74%を占めた。

また、調査回答者の 51%が現在の住居に安心して暮らし続けられないと回答した。



④引越の希望

調査回答者の 33%が引っ越しを希望している。その理由については自由記述 (5.参考資料) を参照されたい。



■引越したい

- ・家賃が高いけど、まだ見つけるの大変。我慢してる（50代男性）
- ・すでに4ヶ月分の家賃を払えていなく、払う手段がありません（40代男性）。
- ・友達の家を居候しているからです（30代女性）
- ・今住んでいる家では沢山虫がいます。さらにはネズミまで居ます。お金があれば今すぐ出ていきます（30代女性）
- ・家が安定していなく、戸棚もゴタゴタで、窓も破壊しています。全てが壊れています（20代男性）
- ・今の家はとても小さいです。寝る場所しかなく、洗面所、トイレ、キッチンもありません（30代男性）

■引越したくない

- ・仮放免で働けない、お金大変、家借りるできない（40代男性）
- ・行く場所がありません（50代女性）
- ・路上生活して寒い時に公園の中で寝たくないからです（50代男性）
- ・近隣住民とは仲良くやっています。住んでいる家は古いです（10代女性）
- ・友人が近くに住んでおり、助けなどが必要な時に会うのが簡単です（40代男性）
- ・近くに助けてくれる人がたくさんいます（50代女性）

⑤住居を失った経験・路上生活の経験

調査回答者の21%が過去に家賃を支払えずに住居を失った経験がある。また、調査回答者の22%が過去に路上生活をした経験がある。

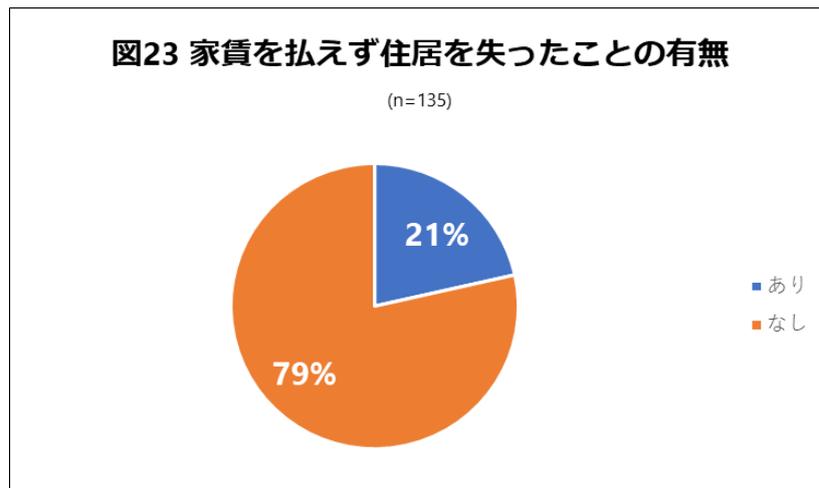
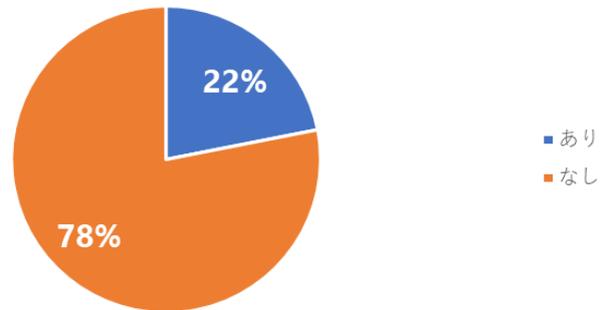


図24 路上生活経験の有無 (n=137)



- ・私名義のアパートは裁判で明け渡しになりました (50代男性)
- ・公園やコンビニでトイレや顔洗っていた。冬は寒いからコンビニで本を見たりして歩き回っていた (40代男性)
- ・いくつかの公共料金を払わずに以前住んでいた家を離れました。働いていないので支払うのは難しいです (50代男性)
- ・2022年9月1日に、疲れ果てて、家、お金、ご飯もなかったので自殺未遂しました。幸いなことに団体は住まいや食事のことを支援してくれました。そのお陰で、もう一つ生きるチャンスを与えてくれて、人生は終わりではない。ありがとう (50代男性)

4.仮放免者住居調査で明らかになったこと・仮放免者施策の提言

ここでは、仮放免者住居調査を通して明らかになったこと、それを踏まえて、今必要とされている仮放免者施策を提言する。

(1) 仮放免住居調査で明らかになったこと

①86%が「働ける年齢層」、85%が「難民認定申請者」、31%が「未成年の子ども」あり世帯

仮放免者住居調査では回答者の86%が20～50代の働ける年齢層の者であった。また、帰化要件（5年）以上の滞在年数の者は85%、永住許可要件（10年）以上の者は66%、20年以上の者は39%、30年以上の者は23%となっており、他の調査と比較して滞在年数が長い者が多いことも明らかになった。さらに、調査回答者の85%が難民認定申請を行っており、31%が同居する17歳以下の子どもがいる世帯であった。

ここからは、仮放免住居調査の回答者の多くは、日本に長く暮らし、かつ、働ける者であること。難民認定申請を行っており、未成年の子どもを養育している世帯が全体の3分の1程度であることがわかる。そして、以下に示すようにこのような状況にある人たちが家賃や電気ガス水道料金を支払えずに苦しんでいたり、家を失い路上生活をせざるを得なくなっている。

②91%が「家賃に苦しむ」、46%が「家賃滞納」、40%が「電気ガス水道滞納」

仮放免者住居調査では、家賃の負担感をとても苦しい・苦しいと答えた者が全体の91%を占めた。また、電気ガス水道の負担感をとても苦しい・苦しいと答えた者が全体の86%を占めた。さらに、現に家賃を滞納している者は46%、電気ガス水道を滞納している者は40%。過去に家賃滞納経験のある者は66%、過去に電気ガス水道の滞納経験のある者は63%であった。

ここからは、仮放免者住居調査の回答者の多くが家賃や電気ガス水道料金の支払いに苦しみ、それらの支払いができず滞納していることがわかる。仮放免者はライフラインの確保もままならず、ホームレスになる危険性が高い状況に置かれている。

③家賃払えず、家賃や住居の援助を受ける不安定居住の仮放免者

仮放免者住居調査では、住居を確保することがとても大変・大変と答えている者は全体の70%であった。また、回答者の多くが家賃支払いについて、親戚親族・友人からもらう、借金をする、支援者・支援団体からもらうと答えた。さらに、本人や家族以外の者が所有する住居で暮らす者は全体の53%であった。

ここからは、仮放免者住居調査の回答者の多くは自身で家賃を支払うことはできず、また、住居を確保することも困難であることから、親族、友人、支援者などから家賃や住居の援助

を受け、暮らしていることがわかる。自由記述でも示されているようにこの援助がいつまで続くかはわからない。仮放免者は不安定な居住環境に置かれ続けている。

④5人に1人が「路上生活の経験」、5人に1人が経済的な理由で「住居を失った経験」

調査回答者の住居の維持について、維持できないかもしれない・すでに家を失っている・わからないと答えた者は全体の74%であった。また、調査回答者の51%が現在の住居に安心して暮らし続けられないと答えた。さらに、21%に過去に家賃を支払えずに住居を失った経験があり、22%に過去に路上生活をした経験があった。

ここからは、仮放免者住居調査の回答者の多くが住居の維持に不安を感じ、実際に5人に1人が経済的な理由で住居を失い、また、路上生活を経験している。仮放免者はホームレス状態になるリスクが高いことがわかる。

(2) 仮放免者施策の提言

2021年に北関東医療相談会が行った「仮放免者生活実態調査」では、同調査で明らかになった「生きていけない」仮放免者の現状に対して、就労を認めること、国民健康保険など医療保険の加入を認めること、無料低額診療事業を行う医療機関への支援・未払補填事業の整備拡充を行うこと、生活保護法を適用することが提言された。

それら提言と仮放免者住居調査で明らかにしたことを踏まえて、2023年12月19日に国土交通省と東京都にそれぞれ要望書を提出した。次頁にそれら要望書を転載する。また、要望内容の要点は以下である。

- ・在留資格の有無や条件に拘わらず、外国人が確実に居住支援法人に繋がれるよう周知徹底すること
- ・公営住宅の入居者募集に際し、在留資格の有無や在留期間等の条件によって応募の受付と抽選から除外されないよう、措置を講じること
- ・先例にもあるように⁹、建て替え計画等により空室がある公営住宅の空室が活用されるよう、支援団体の利用を認める措置を講じること
- ・非正規滞在外国人を含む外国人に対しウクライナ避難民並みの居住支援をすること

⁹ 尼崎市 2022年3月30日「市営住宅の空き室を居住支援などに有効活用 あまがさき住環境支援事業『REHUL（リーフル）』を開始」https://www.city.amagasaki.hyogo.jp/shisei/1001823/press_release/003shityoteirei/1030368/1030115.html

①要望書（国土交通省）

要 望 書

2023年12月19日

内閣総理大臣 岸田 文雄 殿
国土交通大臣 斉藤 鉄夫 殿

第211回国会において「出入国管理及び難民認定法及び日本国との平和条約に基づき日本の国籍を離脱した者等の出入国管理に関する特例法の一部を改正する法律案」が成立しました。その審議過程では、出入国在留管理庁による難民認定制度の運用に係る問題点などが議論された一方、外国人の収容と仮放免に関しては、国連人権理事会の特別報告者および恣意的拘禁作業部会から国際人権規約などに違反する可能性があるとの指摘があったにも拘わらず、議論が深まることなく採決に至りました。被仮放免者にとって住まいの確保は容易ではなく、現に路上生活に陥っている人もいます。命の危機にある人の一刻も早い救済が必要であることから、本要望書を提出いたします。

今般、本要望書の提出者3団体は、被仮放免者の住まいに関するアンケート調査を実施しました（添付資料1）。その結果、回答者の5人に1人は路上生活をした経験があり、4割強の人が家賃の滞納などで住まいを失う危機にある実態が明らかになりました。被仮放免者は、未認定の難民、子や配偶者が日本にいる人、日本で生まれ育った人、数十年の長期にわたり日本に定住し最早行く当てのない人など、それぞれに事情を抱え帰国できない人たちです。在留資格がなく、よって地方公共団体に居住実態を把握されず、社会保障制度から排除され、就労は不許可であり、極度に困難な生活を余儀なくされます。被仮放免者が住まいを確保できなければどのような事態となるかを示す事例も多数寄せられていますので、その一部を添付いたします（添付資料2）。また、在留資格があっても、3月未満の短い在留期間を更新しながら在留している場合は、住まいの確保が非常に困難です。

国会会期中5月23日の参議院の厚生労働委員会において、住まいの確保は基本的人権であるかという石橋通宏議員の質問に対し、貴省豊田俊郎副大臣（当時）は基本的人権であるとのことをご答弁をなさいました。そのうえで、仮放免中の外国人の住まいの確保に関しては、住宅セーフティネット法に基づく居住支援法人が支援をしており、貴省としては居住支援法人への補助等の取り組みを通じて対応していくとのことのお話でした。住まいが基本的人権であるからには全ての人に保障されなくてはならず、国によって保障される仕組みが必要です。住まいの保障は命の保障と同義です。在留資格のない外国人であっても住まいは必要であり、長期的に居住する前提にない、あるいは、近い将来に法的身分安定化のうえ自立する目途が立たない、といったことは、住まいがなくて良い理由

にはなりません。全ての人に住まいの保障を実現し、命の危機を回避できるよう、下記を要望いたします。

尚、本要望書提出に併せ、東京都にも要望書を提出していますので、参考資料として添付いたします（添付資料3）。

記（要望）

- 一、居住支援法人制度に係る住宅確保要配慮者のうち「住宅の確保に特に配慮を要するものとして国土交通省令で定める者」には「外国人等」が含まれている。被仮放免者および在留期間の短い在留資格の者は外国人であり、従って当然住宅確保要配慮者に該当する。在留資格の有無や条件に拘わらず、外国人が確実に居住支援法人に繋がれるよう、都道府県に周知徹底すること。
- 二、被仮放免者および不安定な在留資格の外国人が公営住宅に入居できるようにすること
 - （1）被仮放免者は公営住宅に応募できない。在留資格の期間が短い人は、在留期間を更新しながら滞在を継続していても公営住宅に応募できない。公営住宅の入居者募集に際し、在留資格の有無や在留期間等の条件によって応募の受付と抽選から除外されないよう、措置を講じてもらいたい。
 - （2）現に路上生活を強いられている人にとっては、短期間であっても住宅が使用できれば命を繋ぐことができる。また、家族世帯が経済的事情から単独世帯向け住宅に居住している場合には、衛生面や環境面の問題が生じやすく、特に子の健全な成長の阻害要因にもなり得る。既に尼崎市において、市営住宅の空室を民間団体に低額で提供し、支援活動としての利用や困窮者の入居を認める取り組みを開始していることに鑑み、同様の取り組みが公営住宅全般で実施されることを求める。とりわけ建て替え計画等により空室がある公営住宅の空室が活用されるよう、支援団体の利用を認める措置を講じてもらいたい。
- 三、非正規滞在外国人を含む外国人に対しウクライナ避難民並みの居住支援をすること
ウクライナ避難民に関しては、政府と省庁の主導で様々な特例措置が講じられ、公営住宅への入居を始め、安心して生活するための様々な支援が実施されている。これは、現行の制度とは異なる枠組みで人を救済することが可能であることを意味する。現に、一部の地方公共団体からは、現状の制度では被仮放免者等の外国人に行政のサービスを提供できないが、国からの要請があれば対応できるとの声が聞こえてくる。在留資格上どのような法的身分であっても、居住実態のある人が、その地域において最低限の生活ができるよう保障されるのは当然である。必要な支援の内

容に応じ、都道府県または市区町村に通達を出すなどして、地方公共団体における柔軟な支援を可能にしていきたい。

以上

②要望書（東京都）

要 望 書

2023年12月19日

東京都知事 小池 百合子 殿

東京都住宅政策本部長 山口 真 殿

第211回国会において「出入国管理及び難民認定法及び日本国との平和条約に基づき日本の国籍を離脱した者等の出入国管理に関する特例法の一部を改正する法律案」が成立しました。その審議過程では、出入国在留管理庁による難民認定制度の運用に係る問題点などが議論された一方、外国人の収容と仮放免に関しては、国連人権理事会の特別報告者および恣意的拘禁作業部会から国際人権規約などに違反する可能性があるとの指摘があったにも拘わらず、議論が深まることなく採決に至りました。被仮放免者にとって住まいの確保は容易ではなく、現に路上生活に陥っている人もいます。命の危機にある人の一刻も早い救済が必要であることから、本要望書を提出いたします。

今般、本要望書の提出者3団体は、被仮放免者の住まいに関するアンケート調査を実施しました（添付資料1）。その結果、回答者の5人に1人は路上生活をした経験があり、4割強の人が家賃の滞納などで住まいを失う危機にある実態が明らかになりました。被仮放免者は、未認定の難民、子や配偶者が日本にいる人、日本で生まれ育った人、数十年の長期にわたり日本に定住し最早行く当てのない人など、それぞれに事情を抱え帰国できない人たちです。在留資格がなく、よって地方公共団体に居住実態を把握されず、社会保障制度から排除され、就労は不許可であり、極度に困難な生活を余儀なくされます。被仮放免者が住まいを確保できなければどのような事態となるかを示す事例も多数寄せられていますので、その一部を添付いたします（添付資料2）。また、在留資格があっても、3月未満の短い在留期間を更新しながら在留している場合は、住まいの確保が非常に困難です。

国会期間中5月23日の参議院の厚生労働委員会において、住まいの確保は基本的人権であるかという石橋通宏議員の質問に対し、国土交通省の豊田俊郎副大臣（当時）は基本的人権であると明言しました。そのうえで、仮放免中の非正規滞在外国人の住まいの確保に関しては住宅セーフティネット法に基づく居住支援法人が支援をしており、国土交通省としては居住支援法人への補助等の取り組みを通じて対応していくとのことでした。

住まいの保障は命の保障と同義です。在留資格のない外国人であっても住まいは必要であり、長期的に居住する前提にない、あるいは、近い将来に法的身分安定化のうえ自立する目途が立たない、といったことは、住まいがなくて良い理由にはなりません。住まいが基本的人権であるからには全ての人に保障されなくてはならず、行政上の身分如何に拘わらず保障される仕組みが必要です。全ての人に住まいの保障を実現し、命の危機を回避できるよう、下記を要望いたします。

尚、本要望書提出に併せ、国土交通省にも要望書を提出しますので、参考資料として添付いたします（添付資料3）。

記（要望）

一、被仮放免者および不安定な在留資格の外国人が公営住宅に入居できるようにすること

- (1) 被仮放免者は、都営住宅に応募すらできない。区営・市営住宅等も、当該市区の住民を対象としているため、住民票に代わる在留カードがなければ対象とされない。だが、被仮放免者は居所を厳しく出入国在留管理庁に管理されており、仮放免許可書には居所が記載されている。この居所は住所と見做されるべきである。都営住宅を始めとする公営住宅の入居者募集に際しては、被仮放免者の応募を受付と抽選から除外せず、入居対象者としてもらいたい。
- (2) 在留資格の期間が短い人は、在留期間を更新しながら滞在を継続していても、都営住宅に応募できない。区営・市営住宅等も同様である。公営住宅の入居者募集に際しては、在留資格の期間の長さによって応募の受付と選考から除外せず、入居対象者としてもらいたい。
- (3) 現に路上生活を強いられている人にとっては、短期間であっても住宅が使用できれば命を繋ぐことができる。また、家族世帯が経済的事情から単独世帯向け住宅に居住している場合には、衛生面や環境面の問題が生じやすく、特に子の健全な成長の阻害要因にもなり得る。既に尼崎市において、市営住宅の空室を民間団体に低額で提供し、支援活動としての利用や困窮者の入居を認める取り組みを開始

していることに鑑み、同様の取り組みが公営住宅全般で実施されることを求める。とりわけ建て替え計画等により空室がある公営住宅で空室が活用されるよう、支援団体の利用を認める措置を講じてもらいたい。

二、被仮放免者および不安定な在留資格の外国人が、在留資格の有無や条件に拘わらず、居住支援法人の支援を確実に受けられるようにすること

- (1) 居住支援法人制度に係る住宅確保要配慮者のうち「住宅の確保に特に配慮を要するものとして国土交通省令で定める者」には「外国人等」が含まれている。被仮放免者および不安定な在留資格の者は外国人であり、従って当然住宅確保要配慮者に該当する。在留資格の有無や条件に拘わらず、外国人が居住支援法人の支援を受けられるよう、居住支援法人に対し周知徹底してもらいたい。
- (2) 住まいを失う危機にある人が相談に訪れるのは、まず居住地市区町村の相談窓口であろう。その際に、居住支援法人に繋がれるよう周知徹底してもらいたい。

三、非正規滞在外国人を含む外国人に対しウクライナ避難民並みの居住支援をすること
ウクライナ避難民に関しては、政府と省庁の主導で様々な特例措置が講じられ、都営住宅への入居を始め、安心して生活するための支援が概ね行き届いている。これは、現行の制度とは異なる枠組みで人を救済することが可能であることを意味する。在留資格上どのような法的身分であっても、居住実態のある人がその地域において最低限の生活ができるよう保障されるのは当然である。同時に都並びに市区町村の地方公共団体も、保健衛生と人道の観点から、地域に居住する全ての人が社会的に孤立することなく最低限の生活ができるよう図ることが使命であると認識しているはずだ。心身共に衰弱し死と隣り合わせの状態に追い込まれている外国人が多数いる現実を直視し、積極的な支援を柔軟に運用してもらいたい。

以 上

5.参考資料

(1) 自由記述

①家賃・電気・ガス・水を払えないとき、どうしていますか？

- ・私名義のアパートは裁判で明け渡しになりました（50代男性）
- ・止まること困るのでどうにか払ってる（50代男性）
- ・支援者に頼む（40代男性）
- ・やばいよ。すごい大変。ちょっと日本語しゃべるから、通訳やってるから、たまに（40代男性）
- ・電気ガス水とめたことが何回もあります。すごく苦しかったです。家賃はちゃんと伝えて後で払うように約束します（30代女性）
- ・支援、福祉機関にアドバイスを受ける（50代男性）
- ・公園やコンビニでトイレや顔洗っていた。冬は寒いからコンビニで本を見たりして歩き回っていた（40代男性）
- ・そのまま（50代男性）
- ・友達から借りてます（40代女性）
- ・友達に借りて払っています（50代男性）
- ・上述費用すべて及び大分生活必要食料品、生活必需品、交通費など諸費用は支援団体つくり東京ファンドさんが払っている。大変助かります。生命の恩人と言えることなので、心から感謝いたします（60代男性）
- ・とても大変です。4月からご飯を作らないです。冷たい水でシャワーを浴びています。もうすぐ電気が切れちゃう。電気1月からお金を払っていないから。今困っています（40代男性）
- ・友達、親戚（60代男性）
- ・そのまま遅く払いました（20代男性）
- ・友達お金借りる（40代女性）
- ・RHQ支援する（40代男性）
- ・お金借りています（50代女性）
- ・家賃を払えないとき、保証会社が立替で払うことになっています。そして私がどこかでお金を借りてできれば早く家賃と延滞金を保証会社に振り込みます。今年の2月ごろ保証会社に振り込むべきお金も用意できなかつただけでなく更新料を払う必要もありました。そこで保証会社のためのお金とアパート更新(契約)のためのお金はつくり東京ファンドのサポートによって対応できて本当に救われました。電気、ガス、水を払えないときもお金を用意できたらあれらが止められる前に遅れて支払うようにしています。電気の場合、1回解約になってしまったことがあります。あれに関する再開手続きで対応できてよ

- かったのです (30 代男性)
- ・遅れて払います (30 代男性)
 - ・大変です。でも遅くなっても払ってます (60 代男性)
 - ・いつも遅くなるで払います (50 代女性)
 - ・親戚借りる (40 代男性)
 - ・お金を借ります (50 代男性)
 - ・友達に借りている (50 代男性)
 - ・お金がなければ電気、ガス、水道も止まってしまう。家賃のお支払いを待つように大家さんと交渉する相談します (60 代男性)
 - ・暗いです。よくない (40 代男性)
 - ・友達が払う (50 代男性)
 - ・親戚借りる (10 代女性)
 - ・友人から借りてしまおうと思う (10 代男性)
 - ・家族、支援者 (60 代男性)
 - ・知り合いにお願いしてます (40 代男性)
 - ・〇〇 (注：本国) の家族に払ってもらう (40 代男性)
 - ・わかりません (40 代男性)
 - ・シェアハウスの家賃に含まれている (30 代男性)
 - ・教会、友人、弟にお願いするしかない (50 代男性)
 - ・大変なことになります。ですが、お金は全部ちゃんと払っています。そうしていなければ、家の持ち主は住ませてくれません (60 代男性)
 - ・善意のある人々たちに助けを求めています (60 代男性)
 - ・未払いことはありません。というのは RHQ が料金を支払います (30 代男性)
 - ・友達の家に住んでいます。居候をやめて私と二人の息子が家に住めるようにどうかお金をください (30 代女性)
 - ・電気代、ガス代、水道代を払わないと全て止められます (40 代男性)
 - ・RHQ に頼みます (40 代男性)
 - ・何もしません。いくつかの公共料金を払わずに以前住んでいた家を離れました。働いていないので支払うのは難しいです (50 代男性)
 - ・RHQ の支援を受けています (40 代男性)
 - ・暗い部屋で生活しています。冷たい水を飲んで冷たいご飯を食べます (50 代男性)
 - ・何もませんが支援団体が私を助けてくれます (40 代男性)
 - ・家賃だけ払います。ガス代と水道代は払いません (20 代男性)
 - ・もうすぐ全部止められます (30 代男性)
 - ・友達から借金を頼みます (30 代女性)
 - ・借金をして、支払っています。そうでなければ、電気や水やガスが止まります。家賃も払

- えなければ家から追い出されます（不明）
- ・借金をして、支払っています。そうでなければ、電気や水やガスが止まります。家賃も払えなければ家から追い出されます（不明）
 - ・自分のお金がないときは友人から借金しています（10代女性）
 - ・払わなくてはなりません（30代女性）
 - ・払わざるを得ません。ご理解いただけますと幸いです（30代男性）
 - ・家族と一緒に働いて支払う努力をしています。妻と友人たちがご飯を作ります。私はともだち友達の置場で週に2回はたらいで手伝いをしています。彼も私の家賃の件で助けてくれます（30代男性）
 - ・酷い苦境に立たされています。家主は玄関までやってきて、家賃を払えなかったら、出て行けと言ってきます。兄弟が払ってくれますが、私にとっては借金になります。やっとのことで支払っています。遅れると電気が切られたりして、大変なことになりました（30代女性）
 - ・借金をしています。親戚からです（20代女性）
 - ・家族の支援でなんとかなっています（60代男性）
 - ・私はお金をいっさい払っていません（40代女性）
 - ・アミーゴスグループの大澤優真さんが支援してくれています（50代男性）
 - ・その時は、教会、NPO、友達たちに泣きにいきます（40代男性）
 - ・お金を受け取る人にお金を稼ぐのに時間をくださいとお願いしています（30代男性）
 - ・私と息子は2023年の7月に来日したばかりで、まだその状況にはなったことがないです（30代女性）
 - ・友人、知り合い、教会とNGOらに支援してもらっています（60代男性）
 - ・私の家主は中国出身で、払えない時には、時間をくれます。払うのが難しく、借金をして払うときがあります（20代男性）
 - ・私は一人で住んでいません。娘と二人で住んでいますので、そうなった場合は大変です（20代女性）
 - ・本当に難しいです。非常にストレスがたまります（50代女性）
 - ・友人か、支援してくれる人をお願いしています（40代男性）
 - ・次をどうすればいいかわからなくなり、ストレスがものすごいです（60代男性）
 - ・友人と家族に支援をお願いしています（40代男性）
 - ・家賃や生活費を払えないときは、友人に支援してもらい、払っています。そして、教会で寝ています。友人の支援なしで生きていけないのが本当に恥ずかしいです（30代男性）
 - ・払えないときは、借金をして払えるようにしています（40代男性）
 - ・本当に難しいです。いつも友人に助けをお願いしています（50代男性）
 - ・家賃や生活費を払えないときには、ものすごくストレスが溜まり、困ります（50代女性）
 - ・払っていません（50代男性）

- ・借金で払っています。家族、知り合い、友人からのお金です (20 代男性)
- ・普段は半月働いています。生活費は毎月ちゃんと払うようにしています (40 代男性)
- ・状況が複雑で、説明が難しいです。とても難しいです (50 代男性)
- ・友人、教会と NPO の支援で払っています (60 代男性)
- ・友人から借金をしています (40 代その他)
- ・私は働けなく、難しいです。友人の助けに頼っています。ですが、最近の日本は難しく、友人に頼ったままではだめです (50 代女性)
- ・答えるのが難しいです。家賃を払えていなければ、家主が、私が払うまで息をさせてくれなく、常に要求してきます。電気・ガス・水は、何回も支払うのが遅くなり、3 か月以上遅く、やっと友人からお金を借りて払いました (50 代女性)
- ・家族と友人に支援をいつもお願いしています (50 代男性)
- ・日本に来た時から知っている仲の良い友人がたまに助けてくれます。そうではない時は困難です (40 代男性)
- ・いつもは担当の団体に連絡して、電気・ガス・水代を (50 代女性)
- ・まったく払うことができないので、友人と住んでいます (20 代男性)
- ・担当の会社に状況を理解してもらい、お金を用意する時間を貰うのが難しいです。今は支援してくれる NPO を見つけるのが困難です (40 代男性)
- ・私の妻が家賃を払えない時には、友人に借りています。今は友人に 3 か月分の家賃を借金しています。借金の合計は 113,240 円です (50 代男性)
- ・夫の姉 2 人にボランティアをお願いしています (50 代女性)
- ・最初は一生懸命に働いて払っていますが、最近は物価も高くなり、私みたいな日本語が上手ではない外国人には良い収入の仕事ができません。生きるのが困難です (30 代女性)
- ・家主に助けをお願いしています (40 代女性)
- ・心臓にわるいです (30 代男性)
- ・神に祈りながら、友人と教会に話して解決しています (50 代男性)
- ・友人にお金をお願いするか、借金を (50 代男性)
- ・教会と知り合いに助けをお願いしています (50 代女性)
- ・はらいました (50 代男性)
- ・友人とアミーゴスの支援で解決しています (40 代男性)
- ・友人にコンタクトするなど (40 代女性)
- ・とても困難です (50 代女性)
- ・水、ガスと電気は払っています。ですが、空腹で寝ることが多いです。私は特殊な病気を抱えています。医療費は払えず、治療を受けられません (30 代男性)
- ・私が払えないときは、払えるまで友達が払ってくれました。そして、教会に行って寝ていました。

②引越をしたい・したくない理由

■引越したい理由

- ・結婚したため（50代男性）
- ・家賃は高いからもっと安いところで済みたいです（30代女性）
- ・家賃が少し高い（50代男性）
- ・壊れた窓、壊れた戸棚、勝手に侵入（20代女性）
- ・2015年から同じ家に住んでいますから家を無くなるだったら考えます（40代男性）
- ・今はシェアハウスで住んでるんですけど、なんか不便なことがあります、家を変えたいです（20代男性）
- ・子どもが大きくなったから家は狭い（40代女性）
- ・シェルターだから（40代男性）
- ・古いと狭い（50代女性）
- ・もう狭かったりすると感じています。一人のためはなんとかありますが、あの先を考えると別のところが望ましいかもしれません。気分転換のためにも必要だと考えられます（30代男性）
- ・家賃が高いけど、まだ見つけるの大変。我慢してる（50代男性）
- ・無料の空き家をいただきたいです。あとで私が自分でリフォームしていきます（50代男性）
- ・変える大変（10代女性）
- ・会社で働いている時、同じ会社のボロボロ部屋が自分で直して住んでいましたが、今仕事なくなったので、今の部屋に住めることは難しくなりました（50代男性）
- ・私は娘と一緒に住んでいません。彼女は〇〇市にある「子供の町」に住んでおり、私の家に遠くないです。もし家を変えたら、私の娘から遠くなります。どうか未払いの家賃が払えるように助けてください。宜しくお願いします（40代女性）
- ・古家だからです（30代男性）
- ・友達の家を居候しているからです（30代女性）
- ・ここは狭いので妻が日本に来たら、より広い家を見つけなければなりません（40代男性）
- ・いつか働いて全体的に自立できるように願います（50代男性）
- ・私は結婚していて、妻と子供3人が日本に着いたらみんなで暮らせるようにもっと広いスペースが必要だからです（40代男性）
- ・家賃が払えないからです（30代男性）
- ・今住んでいる家では沢山虫がいます。さらにはネズミまで居ます。お金があれば今すぐ出ていきます（30代女性）
- ・窓は壊れている。あらゆるところが剥がれ落ちる。棚は外され、扉が壊れている（不明）
- ・窓は壊れている。あらゆるところが剥がれ落ちる。棚は外され、扉が壊れている（不明）

- ・家はとても古くて、虫がでます。さらにはネズミも出ます。最悪の家です（30代男性）
- ・高すぎる（50代男性）
- ・家賃を期限内に払い続けなければ（50代女性）
- ・今は自分の家を所持していません。サポートグループが提供しているところに住んでいます（30代男性）
- ・健康に良くないからです（50代男性）
- ・今の生活環境は難しいです。4人も一緒に住んでいて、家賃と生活費が高いです（40代男性）
- ・パキスタンの男性と一緒に住んでいます。彼が言うには、もうすぐ家賃を払えなくなるそうです（50代男性）
- ・家が安定していなく、戸棚もゴタゴタで、窓も破壊しています。全てが壊れています（20代男性）
- ・もっと安いところがいいです（40代男性）
- ・お金を集めるのが難しいです。生活環境もよくありません（50代男性）
- ・もう、友人の家では住めません。私がいるせいで、友人の彼女はもう来ません。彼女がこないとのことで、部屋を貰いましたが、大変申し訳ない気持ちです（20代男性）
- ・すでに4ヶ月分の家賃を払えていなく、払う手段がありません（40代男性）。
- ・外出もします（50代男性）
- ・娘の行きたい学校に遠いです。高校に行くための塾も遠いです。3人で住むには小さすぎます（50代女性）
- ・賃貸の契約が他の理由とあと数か月で終わります（30代女性）
- ・今の家での生活環境はもう耐えられません（50代男性）
- ・今の家はとても小さいです。寝る場所しかなく、洗面所、トイレ、キッチンもありません（30代男性）
- ・ずっと泊まらせてくれている友達に対してとても恥ずかしいです（30代男性）

■引越したくない理由

- ・引っ越しお金かかる（50代男性）
- ・駅、スーパー、郵便局、銀行が家の近くだから。家賃も安いから（40代男性）
- ・お風呂入る不便である。ただし、生命心配なし。安定、安心生活をできる状態になりました。本当感謝致します（60代男性）
- ・かえる大変（40代男性）
- ・今の家は心配がない（20代女性）
- ・仮放免で働けない、お金大変、家借りるできない（40代男性）
- ・ビザも仕事もありません。日本政府は難民や仮放免の人の境遇に対して無関心です（40代男性）

- ・この場所をよく知っているからです（40代男性）
- ・今の家がいいです。それに、通っている教会の近くです（40代男性）
- ・路上生活して寒い時に公園の中で寝たくないからです（50代男性）
- ・十二年間ずっとここに住んでいて、この場所をよく知っているからです（40代男性）
- ・悪くないからです（20代男性）
- ・悪くないからです（40代男性）
- ・近隣住民とは仲良くやっています。住んでいる家は古いです（10代女性）
- ・川口市で暮らしたいです。ここでは仮放免のシステムが知れ渡っています（20代女性）
- ・今の家は娘たちの学校に近いので、引っ越すと、教育に支障がでます（40代男性）
- ・やっと子供たちの学校を決めることができたので、引っ越すと難しいです（30代女性）
- ・まだ契約が続いています（60代男性）
- ・東京の平均家賃は高く、他の場所と比べると家賃は安い方です。環境がいいです。駅に近いです（20代男性）
- ・私は働いていません。家賃も安く、娘の学校に近いので、今の場所が的確です（20代女性）
- ・行く場所がありません（50代女性）
- ・引っ越したら、おそらくホームレスになります（60代男性）
- ・友人が近くに住んでおり、助けなどが必要な時に会うのが簡単です（40代男性）
- ・引っ越したらどこに行けばいいのかがわかりません（50代女性）
- ・行く場所がありません（50代男性）
- ・今の家が一番安定しています。他のところに引っ越そうとしても、私は労働許可がでていなく、財産関係で、賃貸をするのが難しいです（50代男性）
- ・引っ越したいですが、息子が学校を始めてしまい、彼が終わるまで待たなければなりません（50代女性）
- ・前までは、問題がなかったです（50代女性）
- ・前の家賃よりも安いです（50代男性）
- ・もうすでに15年住んでいて、このまま住み続けたいです（70代男性）
- ・家賃が安いです（30代男性）
- ・近くに助けてくれる人がたくさんいます（50代女性）
- ・家賃も安く、近所の人もやさしく、駅も近いです（60代男性）
- ・ここと同じように私たちの子どもたちにとって良い場所がないから。子どもたちはここにいてとても幸せそうで本当に問題が一つもないです（40代女性）
- ・在留資格があるときに得た家なので、今のステータスでは引っ越しができません。口座が凍結されているので管理会社にお金が払えません（50代女性）

③住居のことで困っていること、希望、言いたいことがあれば教えてください

- ・私は住民票がないため家を借りることもできない。医療費は全額負担となっており大変です (50代男性)
- ・お金がないとき、家賃何回も請求されるとき (50代男性)
- ・ちゃんと家賃を払ったら大丈夫思います (40代男性)
- ・子どもの学校に近くて家賃は安い家があればよいといいけど、在留資格ないから借りることができません。いつもありがとうございます (30代女性)
- ・家で何もやることを無くて、ただ時間潰しているより家の中でなんか仕事して、少しでもお金もらう仕事あればいいだと思ふ。例えば封筒でも作って少しでもお金もらえればAMIGOSとかほかの支援者たちに負担かけること少しでも減らすと思ふし、または、私たちのストレスも少しなくなるし。イミグレーションも仮放免者に4時間でもいいから仕事していいって許可出してほしいです (40代男性)
- ・今の固定家賃は消してほしいです (50代男性)
- ・仮放免中なので仕事できません。仕事ができないのでお金もありません。今はお義母さんの給料だけで生活をしていて本当に困っています。子どもたちのためにも早く仕事ができるようになりたいです (40代女性)
- ・今、奥さんだけの給料で生活しています。私も働けるようになったら生活は豊かになります (50代男性)
- ・ガス、電気、水は高い。ガソリンも高い。食べ物も高い。毎月1回米とかボランティアの人が家に持ってきてくれるので、とても助かっている (40代男性)
- ・1日も早く入管から定住者の認可をしてほしい。もう大変疲れた (50代男性)
- ・困っていると思わないですが、お風呂と洗濯機があれば、ネットと繋がり無線があれば、生活更便り、正常人の生活と更に近くになると思います (60代男性)
- ・窓は割れ (注：判読できず) しっかりしておらず、ドアは壊れ、戸棚外れ、すべてが崩壊しています。そして壊れた (20代女性)
- ・前まで〇〇 (注：本国) からお母さんお金をもらったんです。母は亡くなったから困ることになりました。家賃は7月から払っていないです。ガスは4月から払っていないです。電気は1月から払っていないです。水は7月から払っていないです。もうすぐ寒いだからどうするかな…。ちょっとわからないんです。本当困りました (40代男性)
- ・今は足腰いたいです。今は問題です。ありがとうございます (60代男性)
- ・シェアハウスに住んでいるから不便なことたくさんあります。騒音を出さないように注意してください。ほかの建物に住んでいる人に影響を与えないようにするためです。同じ建物内に多くの方が住んでいるため、衛生面や炊事洗濯が大変です。そして、間違った衣服やシャンプーや洗顔料などの個人衛生用品を取り上げられることもよくあります。許可を得ることなくお互いのものを勝手に使用する人さえいます。難民申請中なので定職に

就くことができません。なので、本当は家を借りて一人で暮らしたいと思っています (20代男性)

- ・もっと広い家に住みたいです。でも仮放免だからすぐチェンジできません (40代女性)
- ・家を変えたいけど仮放免だから働けません。お金ありません (40代男性)
- ・シェルターだから出ないといけない。でも、仮放免だから働けない。家借りるできない。どうしますか (30代男性)
- ・(注:判読できず) 仮放免だからお金ない (50代男性)
- ・仮放免だから家借りるできません (40代男性)
- ・仮放免の人が借りることでできない。お金もない (50代女性)
- ・家のある物を使うためのお金を払っているのに、あの物はずいぶん前から使えなくなっている気がします。あの物が提供されないなら、代わりにインターネットがあると仮放免者にとって幸いです (30代男性)
- ・家賃、電気、ガス、医療費、食料を助けてください。お願いします (30代男性)
- ・家賃、電気、水、ガス、医療費を助けてください。お願いします (60代男性)
- ・家賃2月残り分あります。あと、電気代1月とガス2月、水3月分もあります。食べ物も買うは大変です。あと、病院のお金いっぱい残っています。私の病院と子どもの病院と夫の病院です (50代女性)
- ・住民票あればいいところ見つかるはず。仮放免者に家を貸さないこと。仮放免者に住居を提供するネットワークあるといいです。そのような組織を作ってもらいたいです (50代男性)
- ・奥さんに頼んで家賃を払ってもらっているから私も役に立ちたいけど仕事がない。奥さんは家族に責められていて自分が何もできなくて情けない。〇〇(注:本国)の経済措置のせいで私の家族にお金を頼めない。奥さんは病気になったからいつまで家にいられるかわからない。奥さんのために働いて家族のためになりたい (50代男性)
- ・自分の名義で家が借りられたらと思う。仮放免の生活で一番困っているのは働けないこと、保険がないこと、移動ができないことです。こうした人として当たり前のことが認められていないことが一番困ります (50代男性)
- ・自分で働いて自分の名義で自由に住む場所を選んで生活したいと思います。保険のことも問題です (50代男性)
- ・問題 (50代男性)
- ・もうちょっと家賃が安ければよいなあ (10代男性)
- ・洗濯物を干すところがあったらいい (20代女性)
- ・家ないです (40代男性)
- ・家賃、ガス、電気、払うことができません。私のお母さんが亡くなったから今困っています (40代男性)
- ・働けばこんなことにならない。仮放免でも家を借りられるように (50代男性)

- ・一番困っていることが保険がないこと。病院に行けないのはすごく困ってます。生きるにしてもお金がものすごく高い。払えません。お金入るのは仕事しないといけない。でも、今の状態は仕事ができない状態。本当に苦しいです。いつまでもこんなに苦しい生活になりますか？わかりません（40代女性）
- ・私は今、アパートに住んでいます。隣の部屋には誰かが住んでいますが、その人は（注：判読できず）（60代男性）
- ・この困難な時期にボランティアの方（個人や団体）に助けを求めます。例えば、住居（家賃）、電気代、ガス代、水道代について。宜しくをお願いします（60代男性）
- ・私は何を書けばいいかわかりません。今の家に住み続けるように助けが必要です。住まいがなくなったら、どこへ行けばいいかわからないし、どうやって娘の近くに出来るかわかりません。今まで助けてくれている「アミゴス」に感謝しています。ありがとう（40代女性）
- ・今の家は古すぎて、虫や湿気があるから引っ越したいです（30代男性）。
- ・家が必要です。現在、私と二人の子供と友達の家に住んでいますが大変です。住居と子供の教育のことを助けてください（30代女性）
- ・信頼できる団体の支援を受けているから家のことは大丈夫です。最大の問題は、ビザや仕事がないことです。それがなければ、何もできません。普段は仮放免者の生活は地獄のようです。入国管理局は私たちの立場をまったく気にしません。難民申請に必要なものがすべて揃っても面接の際、却下されるために入国管理局の審査官は内容を変えて、捏造しています。不公平で、日本出入国在留管理庁の一部の審査官の行為は遺憾です…（40代男性）
- ・大変なのでどうか助けてください。支援ありがとうございます（40代男性）
- ・今のところは支援者か支援団体が家賃を払ってくれます。日常生活は難しいです。働いていません。個人のニーズを満たすことは大変です。毎月、ポケットマネーも含めて「アミゴス」をお願いします。ご支援ありがとうございます（40代男性）
- ・働くために必要な就労ビザと在留資格を取得したら今コンゴ民主共和国にいる妻と3人の子供と一緒に住みやすい家に住めます。現在、母国の社会状況は大変に混乱しています（40代男性）
- ・男は一人前になるには働くべきです。仕事をする許可をもらいましたら幸せです（50代男性）
- ・政治的、社会的、衛生的にも悲惨な状況に陥っているキンシャサ首都（コンゴ民主共和国）で暮らしている妻と子供3人のことが大きな悩みの種です。現在、援助がないので私の家族は大変です。そのことを考えると不眠症になる時があります。年上の娘と妻はキンシャサ首都に住んでいて、他の二人の子供はコンゴ民主共和国の市に〇〇市に在住する私の兄の家に泊まっています。家族みんなで東京に住めるようにいい家を見つけてくれたら幸せです（40代男性）

- ・2022年9月1日に、疲れ果てて、家、お金、ご飯もなかったので自殺未遂しました。幸いなことに団体は住まいや食事のことを支援してくれました。そのお陰で、もう一つ生きるチャンスを与えてくれて、人生は終わりではない。ありがとう（50代男性）
- ・日本に親戚の人はいないから助けてください。その上、私の健康状態はあまり良くありません。毎回、あなたの支援のお陰で病院に行けます。どうもありがとうございます（40代男性）
- ・ゆっくり休めないし、夜は眠れません（20代男性）
- ・妻と一緒に暮らせる快適な住宅が欲しいです（30代男性）
- ・この家はとても古くて、たくさん虫がいます。ネズミがいます。最悪です（30代女性）
- ・窓は壊れている。家は頑強ではない。扉が壊れ、棚は所定位置から外され、あらゆるところが剥がれ落ち、壊れています（不明）
- ・近隣住民のことは好きです。ただ、住んでいる家は古いです（10代女性）
- ・自分の家が持てるようになることを望みます（30代女性）
- ・私たちの家を持つことを望みます（30代男性）
- ・あります。とても酷い家です。もし、お金があれば、こんなところには一瞬たりとも住みません。（30代男性）
- ・日本人は私たちのことをひどく誤解しています。偏見の目で見てきます。私たちのことをロクにしらないのに、批判してきます（30代女性）
- ・息子のビザの状況は明らかではありません。実際、息子にはビザが発給されませんでした。ビザをもらえないため、保険がありあません。病気になった時、とてもお金がかかります。予防接種のカードをもらえないため、予防接種すら有料で行うよう指示されます。息子にビザを支給して下さいますようお願い申し上げます（20代女性）
- ・インドの人が常に迷惑をかけてきます。彼はよくお酒を飲みます（60代男性）
- ・現状ではなにも問題はありません。いろいろと支援してくれて本当にありがとうございます！（50代男性）
- ・私たちは労働許可がでていません。なので、お金の問題や、家賃が、学校の費用、その他の費用で払うのが難しいです。あなたたちのサポートがあれば本当に助かります（40代男性）
- ・現在はちゃんとした住む場所はありません。サポートグループが提供してくれたところに住んでいます。安定した場所ではありません。いい場所を見つけるまでここにいるだけです。私の電子メールで連絡してください（30代男性）
- ・家族の人数／大きさの関係で、できれば低価格でもう少し大きいところに引っ越しができれば幸いです（30代女性）
- ・もう少し家賃が低い場所に住むことができれば幸いです（60代男性）
- ・最近の東京の家賃は高くなってきています。家賃を払うのを支援していただければ本当に幸いです。生活費も難しくなっています。そちらも支援していただければ幸いです（30代

男性)

- ・はい！家賃、生活費（電気・水・ガス）を払うのを自分で立ち直るまで支援していただければ幸いです（20代女性）
- ・はい。他の人の支援なしで、一人で生きるのは難しいです。助けてくれる友人もいますが、彼らは自分たちの家族もいるので、少ない機会です。彼らも給料が足りないときもあります。私の生活費や、家賃を支援していただければ本当に感謝します。あなたたちの助けにもものすごく感謝しています！（50代女性）
- ・誰かが私の8月分家賃と、生活費を支援していただければ幸いです（40代男性）
- ・私は友人と一緒に住んでいて、彼女だけが家賃と生活費を負担している状態でものすごく難しいです。私はあなたたちの支援にもものすごく感謝しています。ありがとうございます！（60代男性）
- ・もう少し家賃が低いところを探すのを手伝っていただければ幸いです（50代男性）
- ・はい、家賃を毎月払うのがものすごく難しいです。今の生活状況では、毎回友人と家族の支援が必要で困っています（40代男性）
- ・家賃を払うのに支援が必要です。払えないのが恥ずかしく、精神的にも限界です。支援をしていただければ本当に感謝します。今の状態だと本当に払うのが難しいです（30代男性）
- ・アミーゴス、つくろい東京ファンドとビッグイシュー基金に私たちを支援してくれて、感謝の気持ちを伝えたいです。色々と服、食料、医療費支援してもらいました。現在も病院に通って治療を受けています。家賃3か月分のお金もビッグイシューから貰いました。まだ私は、自分で生きるのが難しく、支援を少しでも続けていただければ本当に助かります。ありがとうございます！（40代男性）
- ・家賃を払うのに支援が必要です。ありがとうございます（50代男性）
- ・生活費と家賃を払うのが本当に困難です。その支援をいただければ、幸いです（50代女性）
- ・一つだけの問題は、担当者の人からの悪い扱いです。最初のほうは、東京の入管に行くときの交通費を返済してくれていました。今もまだ返してくれますが、時間も遅く、私たちから電話で要求しない限り、戻ってきません。私たちは労働許可が出ていないので、そのお金が必要です。彼らがわざとやっているかわかりません。しかも、よく「国に帰ればいいじゃん。なんでここにいるの？」と言われます。彼らは私たちの難しい状況を理解してくれると思っていましたが、入管の人と同じことを言っています。私たちは安全に国に帰れるなら、理由もなく難民ビザで日本にいるわけではないです。しかも、日本に住んでいるのも長く、帰れる家などは存在しません。今住んでいる場所から追い出すと脅かされるのも多いです。私たちはアミーゴス、つくろい東京ファンドとビッグイシュー基金にもものすごく感謝しています。担当者が私たちを人間として扱ってくれることを願っています。アミーゴスの支援にもものすごく感謝しています（50代男性）

- ・友人に家賃が払えなく恥ずかしいです。家が欲しいです。心臓病と糖尿病を抱えていて、仕事ができなく、生活費を支払えません。メモお金がなく、2か月以上薬が購入できていません。アミーゴスに薬の支援もお願いしたのですが、助けてくれません（50代男性）
- ・窓が壊れていて、戸棚も動いて、家が安定していません。全てが壊れて崩れてきています（20代男性）
- ・払うのが難しいです（40代男性）
- ・家賃を支払うための支援が必要です。本当にありがとうございます（50代男性）
- ・清掃を減らしたほうがいいと思います。毎月の4000円を減らしたほうがいいと思います。不在時の清掃費を減らしたほうがいいともいます（30代女性）
- ・RHQから受け取っているお金で予算作成するのがすこし困難です（40代その他）
- ・家を変えたいですが、息子の学校と生きるのが難しく、できません。働くこともできなく、毎日家にペッパーのせいで家にいます。生活費を払うのが困難です。支援をいただければ幸いです（50代女性）
- ・はい、お願いがあります。私の生活費と家賃の支援をお願いしたいです。難民ビザで働くことができず、生きるのに支援が必要です。頼むのも難しいです。家賃を払うのが私の一番の悩みです、食事は問題ありません。毎月、家賃を払うお金がない気持ちでストレスがたまっています。支援ありがとうございます（50代女性）
- ・はい、あります。私の状況を直すための支援をお願いしたいです（50代男性）
- ・あなたたちの大きな支援にもものすごく感謝しています。この時期に人間を助けてくれてありがとうございます。最近私の日本人と一緒に住むのが難しいです。彼女は家のことが心配です。ありがとうございます（40代男性）
- ・はい。家の問題です。特に夏の時期で、暑さが耐えられません。家にエアコンがなく、耐えられなくなってきました。いつもは扇風機を使っていますが、たりません（50代女性）
- ・私の住む場所の問題を解決する支援をいただければ幸いです（20代男性）
- ・つくろいファンドに過去の家賃、生活費支援の感謝を伝えたいです。また、つくろいファンドに私は今、2023年2月、7月、8月と9月文の家賃と生活費を払えていなく、借金していることを伝えたいです。お願いします。助けてください。支援をお願いします。ありがとうございます（40代男性）
- ・今月は友人が母国（バングラデシュ）に帰り、お金を払っていません。今月でここに住めるのが最後だと思います。新しい場所を探しており、困っています。大きな問題であなたたちの助けが必要ですお願いします。直接で話したいので電話してください。こちらが私の電話番号です。お願いします（50代男性）
- ・現在、友人に家賃の3か月分（158,900円）を借金しています。前住宅保証人にも113,240円を借金しています（50代男性）
- ・①バルコニーが道路に近すぎて、干物をしてもよくほこりなどがつきます。もう少し大きい場所ならば、布団や洗い物を干すことができます。②私の娘が勉強する場所がありません

ん。家が小さく、彼女の教育に支障が出ています。彼女は勉強する部屋が必要です。③小さい寝る部屋が一つと、小さいリビングルームの二つしかありません。娘がいるため、もう少し大きい場所が必要です（50代女性）

- ・家を所持するためには、一年分の家賃か、月収30万以上か、日本人の保証人が必要というのが私みたいに外国人に難しいルールです。特に私は、難民で、タリバンに全てが奪われました。家を所持するのが困難です（30代女性）
- ・はい。毎日深夜に2階から恐竜の足音のように音がしてきます。ものすごくうるさく、たまにビックリします。たまに物も落ちる音です。なんの音なのかがわかりません（40代女性）
- ・私は72歳です。去年はコロナウイルスに感染し、一ヶ月間入院していました。三ヶ月前には虫垂炎を起こし、一週間〇〇病院で手術を受けなければいけませんでした。体は弱いですが、一生懸命に働いていますが、このままでは大丈夫なのかが心配です（70代男性）
- ・一つだけ問題があります。ゴキブリが大量にいて、非常に困っています（40代女性）
- ・支援団体から助けてもらっています（30代女性）
- ・アミーゴスに家賃の支援を受けられるなら、幸いです。過去の支援も感謝したいです。毎回家賃を払えない時は、血圧が上がって体に悪いです。生きるのが困難です（50代男性）
- ・一つだけのお願いです。家賃を払うのに支援が必要です（50代男性）
- ・医療関係で支援してくださり感謝しています。ですが、最近健康診断がなくなっています。お願いします、私は常に左側の腹痛が苦しいです。治療が必要です。お願いします（50代女性）
- ・ビザはもらいたいです。ずっと一緒に子供といたいです（60代男性）
- ・私たちは働くことなしでこの家に暮らし続けていて、それは私や夫にとってとても大変なことです。サポートの団体からお金をいただくためのお手伝いをしてくださいますか？ありがとうございます（50代女性）
- ・私たちは働くことなしでこの家に暮らし続けていて、それはとても大変なことです。私たちは食べ物を買って、食べる余裕さえありません。JARから少しの家賃をいただくためのサポートをしてくださいますか？（50代男性）
- ・はい。沢山の問題があります。私はうつ病を患っており、他にも常に治療を必要とする持病があります。しかし医療保険や社会保険に加入しておらず、日本に来たときに沢山の病気にかかってしまいました。どうしていいか分からないし、私の病気の面倒を見てくれる人もいない。弁護士とも話しましたが、我慢するようにとられました。しかし私は病気と痛みがあり、苦しい生活を送っています。今は3メートルしかない場所で生活していて、ここにはなんの設備もありません。違うところに住みたいけれど、（必要な）書類を持っていないし費用も高く支払うことができない。生活は苦痛で、私はここにたった一人家族もいない状態で生活しています。もしできるのなら私を助けてください。あなたとあなたの同僚の方に感謝します。私はあなた方の助けを必要としています。お返事お待ち

しています。あなたの親切とご厚意に感謝します（30代男性）

- ・問題なく家賃を支払えるための支援が必要です（60代男性）
- ・安全で素敵な家に住むことができ私はとても嬉しいです。私と私の子どもたちはとても幸せです。あなたたちはその素敵な支援する精神を持っていてほしい。なぜならあなたたいは多くの人たちを笑顔にしているから。本当にありがとうございます。たった一つだけ問題があるとすれば家の窓です。網戸がなく、ひとつだけでもネットがあればとても嬉しいです（40代女性）
- ・住居の支援が必要です。助けを求めることが恥ずかしくて時々メンタルヘルスの問題に直面します。もし住居があればとてもありがたいです。今友達の家に住んでいるのですが、家賃が払えないなどの大きな問題に直面しています（30代男性）

(2) 調査票

- ①日本語
- ②英語
- ③フランス語
- ④トルコ語

かりほうめんしゃ じゅうきょ あんけーと
「仮放免者と住居」アンケート

Kari hōmen-sha to jūkyō ankēto

かりほうめんのひとのせいかつをよくするためのアンケートです。

Karihomen no hito no seikatsu wo yoku suru tame no ankēto (enquête) desu.

だれが かいしたか わからなくして けっか を だします。

Dare ga kaitaka wakaranaku shite kekka wo dashimasu.

アミーゴス、つくろい東京ファンド、ビッグイシュー基金は、しえんグループです。

AMIGOS, Tsukuroi Tokyo Fund, Big Issue Foundation wa shien group desu.

くに や にゆうかん とは かんけい ありません。

Kuni ya nyūkan towa kankei arimasen.

しんぱい しないで ください。

Shinpai shinai de kudasai.

しつもん に こたえて ください。よろしく おねがいします。

Shitsumon ni kotaete kudasai. Yoroshiku onegai shimasu.

◆なんさい ですか？ Nansai desuka?

- ～9 さい (Sai) 10～19 さい 20～29 さい 30～39 さい
40～49 さい 50～59 さい 60～69 さい 70 さい～

◆おとこですか、おんなですか？ Otoko desuka? Onna desuka?

- おとこ Otoko おんな Onna そのほか Sono hoka

◆どこのくにのひとですか？ Doko no kuni no hito desuka?

()

◆にほんにきてなんねんですか？ Nihon ni kite nan-nen desuka ka?

() ねん Nen

◆なんみんのしんせい Application をしていますか？

Nanmin no shinsei o shite imasu ka?

- はい Hai いいえ Iie

◆なんにんで すんで いますか？ Nannin de sunde imasu ka?

() にん Nin

◆だれと すんで いますか？ Dare to sunde imasu ka?

(たとえば：わたしひとり、わたしとこども2にん、ともだちと)

(ex : Watashi hitori, Watashi to kodomo 2nin, Tomodachi to)

()

◆いえに0～17さいのこどもはいますか？

Ie ni 0～17 sai no kodomo wa imasu ka?

- はい Hai いいえ Iie

◆いえはだれのいえですか？ Ie wa dare no iedesu ka?

わたしがかりている Watashi ga karite iru.

わたしのかぞくがかりている Watashi no kazoku ga karite iru.

いっしょにすんでいるともだちがかりている

Issho ni sunde iru tomodachi ga karite iru.

いっしょにすんでいないともだちがかりている

Issho ni sunde inai tomodachi ga karite iru.

しえんしゃ や しえんグループのいえ (たとえば: シェルター)

Shiensha ya shien group no ie. (ex, Shelter)

きょうかい か モスク

Kyokai (church) ka mosuku (mosque)

ホテル や ネットカフェ

Hotel ya net-café

いえはない (ホームレス、こうえん や みち に いる)

Ie ha nai (Homeless, Kôen ya michi ni iru)

そのほか Sono hoka ()

◆やちんをはらうのは… Yachin wo harau nowa…

とてもくるしい Totemo kurushī くるしい Kurushī ふつう Futsū

らく Raku

とても らく Totemo raku

◆やちんはなんえんですか？ Yachin wa nan-yen desu ka?

() えん Yen

◆はらって いない やちん は ありますか？ Haratte inai yachin wa arimasuka?

はい Hai → () かげつ はらって いない () Kagetsu haratte inai.
ぜんぶで () えん Zenbu de () yen

いいえ Iie

◆まえ に、やちん を はらえなかつた とき は ありますか？

Mae ni, yachin wo haraenakatta toki wa arimasuka?

はい Hai

いいえ Iie

◆でんき・ガス・みず の おかね を はらうのは…

Denki・gas・mizu no okane wo harau nowa…

とても くるしい Totemo kurushi くるしい Kurushi ふつう Futsū

らく Raku とても らく Totemo raku

◆はらって いない でんき・ガス・みず の おかね は ありますか？

Haratte inai denki・gas・mizu no okane wa arimasuka?

はい Hai → () かげつ はらって いない () Kagetsu haratte inai.

いいえ Iie

◆まえ に、でんき・ガス・みず の おかね を はらえなかつた とき は ありますか？

Mae ni, denki・gas・mizu no okane wo haraenakatta toki wa arimasuka?

はい Hai

いいえ Iie

◆だれ が やちん を はらいますか？ ☑は なんこ でも いいです。

Dare ga yachin wo haraimasuka? ☑wa nan-ko demo iidesu.

わたし が はたらいて はらう Watashi ga hataraitte harau

かぞく が はたらいて はらう Kazoku ga hataraitte harau.

わたし の ちょきん で はらう Watashi no Chokin de harau

おかね を かりて はらう Okane wo karite harau

しんせき・ともだち・しりあい が はらう Shinseki・tomodachi・shiriai ga harau

しえんしゃ か しえんグループ が はらう Shiensha ka shien group ga harau

RHQ に もらう おかね RHQ ni morau okane

やちん は いらな い え に すんで いる Yachin wa iranai ie ni sunde iru.

やちん を はらえな い から はらつた こ と が な い

Yachin wo haraenai kara haratta koto ga nai

そのほか Sono hoka ()

◆やちん、でんき・ガス・みずをはらえないとき、どうしますか？

Yachin, denki・gas・mizu wo haraenai toki dôshimasuka?

◆いまのいえをみつけるのはたいへんでしたか？

Ima no ie wo mitsukeru nowa taihen deshitaka?

- とてもたいへん Totemo taihen たいへん Taihen ふつう Futsu
かんたん Kantan とてもかんたん Totemo kantan

◆まえに、やちんをはらえなくて、いえをでないといけなかったことはありますか？

Mae ni, yachin wo haraenakute, ie wo Denaito ikenakatta koto wa arimasuka?

- はい Hai いいえ Iie

◆いまのいえにすめなくなりそうですか？ いえをでないといけませんか？

Ima no ie ni sumenaku narisou desuka? Ie wo denaito ikenai desuka?

- だいじょうぶ、しんぱいがない Daijōbu, shinpai nai
すめないかも しれない Sumenai kamo shirenai
(もうすぐ、あと1かげつでです。Mou sugu, ato 1 kagetsu de deru)
すめないかも しれない Sumenai kamo shirenai (あと6かげつ Ato 6 kagetsu)
すめないかも しれない Sumenai kamo shirenai (あと1ねん Ato 1 nen)
もういえをでた Mou ie wo deta
わからない Wakaranai

◆いまのいえはあんしんしてずっとすめるいえですか？

Ima no ie wa anshin shite zutto sumeru ie desuka?

- はい Hai いいえ Iie

◆いえをかえたいですか？ Ie wo kaetai desuka?

- はい Hai いいえ Iie

〈どうしてですか？ Dôshite desuka?〉

[]

◆いえがなくてこうえんやみちにいたときはありますか？

Ie ga nakute kôen ya michi ni ita toki wa arimasuka?

はい Hai いいえ Iie

◆いえのことで、こまっていること、こうだったらいいとおもうこと、
いいたいことをかいてください。

Ie no koto de komatte irukoto, kô dattara ii to omou koto, iitai koto wo kaite kudasai.

ありがとうございました。

Arigatô gozaimashita.

きたかんとういりょうそうだんかい
北関東医療相談会AMIGOS つくろい東京ファンド ビッグイシュー基金

Kitakantô iryô sôdan-kai AMIGOS, Tsukuroi Tokyo Fund, Big Issue Foundation

◆ **What type of housing do you live in?**

- The house leased in your name (housing contract between you and real estate)
- The house leased in your family's name (housing contract between your family member and real estate)
- The house leased by a friend and you lives with him/her
- The house leased by a friend but your friend doesn't live with you
- A residence provided by supporter or support group (such as a shelter operated by support group)
- A church or mosque
- A hotel or an internet cafe
- Living on the streets
- Others ()

◆ **You feel paying rent is...**

- Very difficult Difficult Managing
- Affordable Very affordable

◆ **How much is your rent?**

() Yen/month

◆ **Are you behind your rent payment?**

- Yes → It's been behind () months.
Overdue amount is () Yen.
- No

◆ **Have you ever missed to pay the rent in the past?**

- Yes
- No

◆ **You feel paying utility bills (electricity, water, gas etc) every month is...**

- Very difficult Difficult Manageable
- Affordable Very affordable

◆ **Are you behind the utility bill payments?**

- Yes → It's been behind () months.
- No

◆ **Have you ever missed to pay the utility bill in the past?**

- Yes
- No

◆ **How are you making a rent payment? ※ Multiple answer allowed.**

- Labor income
- Your savings
- Money borrowed
- Money given from friends, family or acquaintance
- Money given from supporters or NPO
- Money provided from RHQ
- Rent is free so that I don't have to pay rent
- Never paid as I can't afford it
- Others ()

◆ **How do you handle the situation if you can't pay rent and/or utility bills?**

◆ **Was it difficult to find your current house/room?**

- Very difficult
- Difficult
- Standard
- Easy
- Very easy

◆ **Have you ever been evicted and lost home because you couldn't pay rent?**

- Yes
- No

◆ **Is it possible in near future that you might lose your house or can't continue living there?**

- Not likely to lose housing
- Might lose housing (within a month)
- Might lose housing (within 6 months)
- Might lose housing (within a year)
- Already lost housing
- Not sure

◆ Do you think your current housing condition is “unstable”?

Yes No

◆ Do you want to move out from your current home?

Yes No

〈Reasons:〉

()

◆ Have you ever experienced live on streets?

Yes No

◆ Do you have any comments, requests or problems about your housing?

Thank you very much for your cooperations.
AMIGOS, Tsukuroi Tokyo Fund, Big Issue Foundation

◆ **Ce logement est à qui ?** Ie wa dare no ie desu ka?

- C'est moi qui loue ce logement.** Watashi ga karite iru.
- C'est quelqu'un de ma famille qui le loue.** Watashi no kazoku ga karite iru.
- C'est un(e) ami(e) avec qui j'habite qui le loue.**
Issho ni sunde iru tomodachi ga karite iru.
- C'est un(e) ami(e) qui n'habite pas avec moi qui le loue.**
Issho ni sunde inai tomodachi ga karite iru.
- C'est à une personne ou un groupe qui m'aide. (ex : shelter ou abri)**
Shiensa ya shien group no ie. (ex, shelter)
- C'est un logement appartenant à une église ou une mosquée.**
Kyokai (church) ka mosuku (mosque)
- Hôtel ou net-café** Hotel ya net-café
- Je n'ai pas de logement (sans abri, dans un parc, à la rue)**
Ie ha nai (homeless, kôen ya michi ni iru)
- Autre** Sonota ()

◆ **Payer le loyer, c'est ..** Yachin wo harau nowa...

- Très difficile Difficile Faisable
- Facile Très facile

◆ **Combien payez-vous pour le loyer ?** Yachin wa nan-yen desu ka?

() yens par mois

◆ **Avez-vous des arriérés (loyer impayé) ?** Haratte inai yachin wa arimasuka?

- Oui → J'ai () mois d'arriérés.
En tout () yens impayés.
- Non

◆ **Vous est-il arrivé, avant, de ne pas avoir pu payer votre loyer ?**

Mae ni, yachin wo haraenakatta toki wa arimasuka?

- Oui Non

◆ **Payer l'électricité, le gaz, l'eau c'est ...** Denki · gas · mizu no okane wo harau nowa...

- Très difficile Difficile Faisable
- Facile Très facile

◆Avez-vous des factures impayées d'électricité, de gaz ou d'eau ?

Haratte inai denki · gas · mizu no okane wa arimasuka?

- Oui J'ai () mois d'arriérés.
 Non

◆Vous est-il arrivé de ne pas pouvoir payer des factures d'électricité, de gaz ou d'eau ?

Mae ni, denki · gas · mizu no okane wo haraenakatta toki wa arimasuka?

- Oui
 Non

◆Qui paie votre loyer? Vous pouvez cocher plusieurs cases.

Dare ga yachin wo haraimasuka? wa nan-ko demo iidesu.

- Je le paie moi-même en travaillant. Watashi ga hataraitte harau
 C'est quelqu'un de ma famille qui travaille et qui paie. Kazoku ga hataraitte harau.
 Je le paie moi-même avec mes épargnes. Watashi no chokin de harau.
 Je le paie en empruntant de l'argent. Okane wo karite harau
 C'est quelqu'un de ma parenté, un(e) ami(e), une connaissance qui paie.
Shinseki · tomodachi · shiriai ga harau
 C'est payé par un(e) bénévole ou un groupe de soutien.
Shiensa ka shien group ga harau
 Je paie avec de l'argent de RHQ. RHQ ni morau okane
 Je n'ai pas besoin de payer de loyer là où je suis. Yachin wa iranai ie ni sunde iru.
 Je ne peux pas payer et n'ai donc jamais payé.
Yachin wo haraenai kara haratta koto ga nai
 Autre Snota ()

◆Que faites-vous quand vous ne pouvez pas payer l'électricité, le gaz ou l'eau ?

Yachin, denki · gas · mizu wo haraenai toki dôshimasuka?

◆ **Est-ce que vous avez eu du mal à trouver votre logement actuel ?**

Ima no ie wo mitsukeru nowa taihen deshitaka?

- Beaucoup de mal Du mal Pas trop de mal
 C'était facile Très facile

◆ **Vous est-il arrivé, avant, d'être obligé de quitter un logement parce que vous ne pouviez plus payer ?**

Mae ni, yachin wo haraenakute, ie wo denaito ikenakatta koto wa arimasuka?

- Oui Non

◆ **Pensez-vous ne plus pouvoir rester là où vous êtes ? Être obligé de déménager ?**

Ima no ie ni sumenaku narisou desuka? Ie wo denaito ikenai desuka?

- Ça ira, pas de souci.
 Je ne pourrai peut-être plus rester ici (Je vais déménager bientôt, dans un mois)
 Je ne pourrai peut-être pas rester (encore 6 mois)
 Je ne pourrai peut-être pas rester (encore 1 an)
 J'ai déjà déménagé.
 Je ne sais pas

◆ **Pensez-vous pouvoir rester indéfiniment dans votre logement actuel ?**

Ima no ie wa anshin shite zutto sumeru ie desuka?

- Oui Non

◆ **Désirez-vous changer de logement? Ie wo kaetai desuka?**

- Oui Non

〈Pourquoi?〉

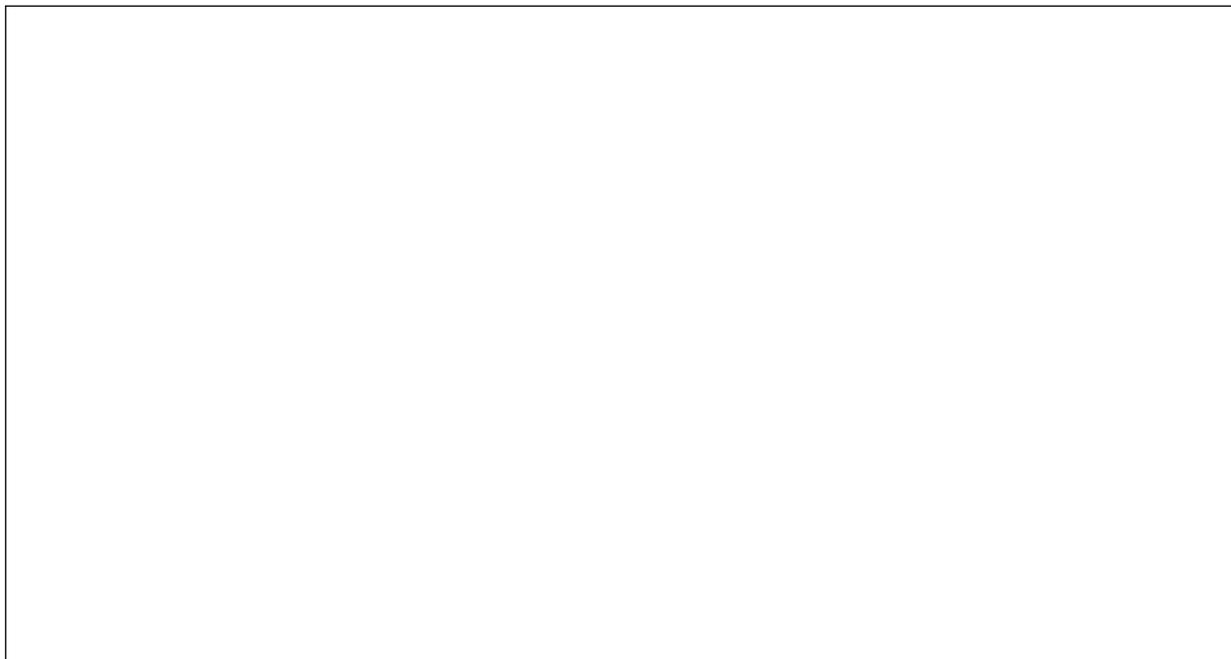
◆ **Vous est-il arrivé d'être sans abri et d'être resté dans un parc ou dans une rue?**

Ie ga nakute kôen ya michi ni ita toki wa arimasuka?

- Oui Non

- ◆ **Écrivez ce que vous voulez sur le logement, les problèmes que vous avez, ce qui vous semblerait bien ou désirable.**

Ie no koto de komatte irukoto, kô dattara ii to omou koto, itai koto wo kaite kudasai.



Merci pour votre coopération. Arigatō gozaimashita.
AMIGOS (Kitakantō iryō sōdan-kai), Tsukuroi Tokyo Fund, Big Issue Foundation

Karihomen ve yasam Alani anketi

Kari hōmen-sha to jūkyo ankēto

Karihomen durumunda olan insanların yasam standartlarını iyi yapmak için alınan bir anket.

Kimin bu anketi doldurduğu belirtilmeyecek şekilde yapacağız.

AMIGOS, Tsukuroi Tokyo Fund, Big Issue Foundation bu işi yardım kuruluşlarıdır

Bu anketin Devlet yada Nyukanlan alakası yok.

Ennise etmeyin.

Assagidaki sorulara cevap verin Lütfen.

◆Kaç yaşındasınız? Nansai desuka?

- ~9 10~19 20~29 30~39 40~49 50~59
 60~69 70~

◆Cinsiyetiniz nedir? Otoko desuka? Onna desuka?

- erkek Otoko kadın Onna dayok Sono hoka

◆Uyruğunuz nedir? Doko no kuni no hito desuka?

()

◆Ne zamandır Japonya'dasınız? Nihon ni kite nan-nen desuka ka?

() yılın ortası

◆Sığınma başvurusunda mı bulunuyorsunuz?(nanminsinsei)

Nanmin no shinsei o shite imasu ka?

- Evet Hayır

◆Kaç kişiyle yaşıyorsunuz? Nannin de sunde imasu ka?

()

◆Kaç kişiyle yaşıyorsunuz? Dare to sunde imasu ka?

(Örneğin yalnız yaşamak, arkadaşlarla yaşamak, aileyle birlikte yaşamak)

(ex : Watashi hitori, Watashi to kodomo 2nin, Tomodachi to)

()

◆17 yaşın altındaki çocuklarla mı yaşıyorsunuz? Ie ni 0~17 sai no kodomo wa imasu ka?

- Evet Hayır

◆evin adı kimin? Ie wa dare no iedesu ka?

- kendim Watashi ga karite iru.
Ailem Watashi no kazoku ga karite iru.
Birlikte yaşayan arkadaşlar ve tanıdıklar Issho ni sunde iru tomodachi ga karite iru.
Birlikte yaşamayan arkadaşlar veya tanıdıklar
Issho ni sunde inai tomodachi ga karite iru.
Yardimcinizin evi yada Yardim grubun evi (ex, Shelter)
Shiensa ya shien group no ie. (ex, Shelter)
Camii mosuku (mosque)
bir otelde veya internet kafede Hotel ya net-café
ben sokakta Ie ha nai (Homeless, Kôen ya michi ni iru)
Diğerleri Neredesin Sono hoka ()

◆kira ödemesi... Yachin wo harau nowa...

- çok zor Totemo kurushī zor Kurushī normal Futsū
kolay Raku çok kolay Totemo raku

◆Kira ne kadar? Yachin wa nan-yen desu ka?

() Yen

◆Kiranız mı gecikti? Haratte inai yachin wa arimasuka?

- Evet Hai → kaç ay? () Nankagetudesuka? ()
Hepsi () Yen Zenbu de () yen
Hayır Iie

◆Kiranızı hiç geciktirdiniz mi? Mae ni, yachin wo haraenakatta toki wa arimasuka?

- Evet Hai
Hayır Iie

◆Elektirik,Gaz,Su faturalarini yatiran...

Denki • gas • mizu no okane wo harau nowa...

- çok zor Totemo kurushī zor Kurushī normal Futsū
kolay Raku çok kolay Totemo raku

◆Yatirmediginiz Elektirik,Gaz,Su faturasi varmi ?

Haratte inai denki • gas • mizu no okane wa arimasuka?

- Evet Hai → kaç ay? () Nankagetudesuka? ()
Hayır Iie

◆Hic gecmiste Elektririk,Gaz,Su faturasini hic odemediginiz oldumu ?

Mae ni, denki • gas • mizu no okane wo haraenakatta toki wa arimasuka?

Evet Hai

Hayır Iie

◆Kim evinizin Kirasini oduyor ? ☑'lar sinirsiz.

Dare ga yachin wo haraimasuka? ☑'wa nan-ko demo iidesu.

Ben oduyorum. Watashi ga hataraite harau

Ailem calisip oduyor. Kazoku ga hataraite harau.

Benim birikiminden oduyorum. Watashi no Chokin de harau

Borç Akraba veya arkadaşlardan kira Okane wo karite harau

Akraba,Arkadas,Tanidigim birisi oduyor. Shinseki • tomodachi • shiriai ga harau

Bize yardimci olan japonlar oduyor. Shiensha ka shien group ga harau

RHQ para veriyor. RHQ ni morau okane

Bedava konutta yaşama Yachin wa iranai ie ni sunde iru.

Kirayı ödeyememe veya hiç ödeyememe Yachin wo haraenai kara haratta koto ga nai

Diğer Sono hoka ()

◆Ev kirasi,Elektirik,Gaz,Su faturalarini odayemedinizde ne yapıyorsunuz ?

Yachin, denki • gas • mizu wo haraenai toki dôshimasuka?

◆Şu anki ikametgahınızı bulmak zor oldu mu?

Ima no ie wo mitsukeru nowa taihen deshitaka?

çok zor Totemo taihen zor Taihen normal Futsu

kolay Kantan çok kolay Totemo kantan

◆Kıranızı ödeyemediğiniz için evinizi kaybedip evden ayrıldığınız oldu mu?

Mae ni, yachin wo haraenakute, ie wo Denaito ikenakatta koto wa arimasuka?

Evet Hai Hayır Iie

◆Yakın gelecekte evinizi kaybetme ihtimaliniz var mı?

Ima no ie ni sumenaku narisou desuka? Ie wo denaito ikenai desuka?

- evinizi kaybetme konusunda endişelenmeyin Daijōbu, shinpai nai
Kaybedebilir (1 ay içinde) Sumenai kamo shirenai (Mou sugu, ato 1 kagetsu de deru)
Kaybedebilir(6 ay içerisinde) Sumenai kamo shirenai (Ato 6 kagetsu)
Kaybedebilir (1 yıl içinde) Sumenai kamo shirenai (Ato 1 nen)
zaten kayıp Mou ie wo deta
Bilmiyorum Wakaranai

◆Şu anda yaşadığınız ev sağlam değil mi?

Ima no ie no jōkyō wa fuantei da to omoimasu ka?

Evet Hai Hayır Iie

◆Mevcut ikametgahınızı taşımak ister misiniz? Ie wo kaetai desuka?

Evet Hai Hayır Iie

〈Sebep Dōshite desuka?〉

()

◆Hiç sokakta yaşadınız mı? Ie ga nakute kōen ya michi ni ita toki wa arimasuka?

Evet Hai Hayır Iie

◆Konutla ilgili herhangi bir endişeniz, umudunuz veya isteğiniz var mı?

Je no koto de komatte irukoto, kô dattara ii to omou koto, itai koto wo kaite kudasai.

İş birliđin için teŖekkürler Arigatô gozaimashita.
Kitakantô iryô sôdan-kai AMIGOS, Tsukuroi Tokyo Fund, Big Issue Foundation

謝辞

仮放免者住居調査は、アンケートに答えてくださった仮放免者の方、アンケートの配布をお手伝いしてくださった仮放免者の方・支援者の方、アンケートの翻訳を行ってくださったボランティアの方、その他多くの方のご支援をいただき、実施することができました。皆様のお力がなければ、仮放免者住居調査を実施し、報告することはできませんでした。改めて皆様のご協力に感謝申し上げます。ありがとうございました。

この文章を書いている最中にも家賃を支払えず路上生活の危機にある仮放免者の方からSOSがきています。私は仮放免者の方々の多くから「お願いするのは恥ずかしい」「働かせてください」とお話を受けます。しかし、恥を忍んで相談してきた彼・彼女らに「私たちにもお金はないから支援はできません」と言わざるを得ないのが支援現場の現実です。

こうした現実を多くの方に知ってもらうために皆様にご協力をいただき調査を行いました。私たちは、この仮放免住居調査で示されたことを踏まえ、引き続き活動してまいります。

調査・執筆担当：大澤優真